

令和 3 年度

奄美市公営企業会計決算審査意見書

水道事業会計  
下水道事業会計

奄美市監査委員



奄 監 第 3 8 号  
令和 4 年 9 月 8 日

奄美市長 安田 壮平 殿

奄美市監査委員 松崎 正典

奄美市監査委員 久保 信正

奄美市監査委員 川口 幸義

令和 3 年度奄美市公営企業会計決算審査の意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により、審査に付された令和 3 年  
度奄美市公営企業会計の決算を審査したので、その結果について、次のと  
おり意見を提出します。



|        |                   |    |
|--------|-------------------|----|
| 第1     | 審査の対象             | 1  |
| 第2     | 審査の期間             | 1  |
| 第3     | 審査の方法             | 1  |
| 第4     | 審査の結果             | 1  |
| 水道事業会計 |                   |    |
| 1      | 事業の概況             | 2  |
| 2      | 予算の執行状況           | 4  |
| 3      | 経営成績              | 6  |
| 4      | 剰余金計算書            | 8  |
| 5      | 剰余金処分計算書          | 8  |
| 6      | 財政状態              | 9  |
| 7      | 資金の状況             | 11 |
| 8      | 経営分析              | 11 |
| 9      | 財務分析              | 13 |
|        | むすび               | 15 |
|        | 比較損益計算書（付表－1）     | 16 |
|        | 比較貸借対照表（付表－2）     | 17 |
|        | 比較キャッシュ・フロー（付表－3） | 19 |
|        | 経営分析に関する調べ（付表－4）  | 20 |
|        | 財務分析に関する調べ（付表－5）  | 21 |

## 下水道事業会計

|   |                   |    |
|---|-------------------|----|
| 1 | 事業の概況             | 22 |
| 2 | 予算の執行状況           | 24 |
| 3 | 経営成績              | 27 |
| 4 | 剰余金計算書            | 28 |
| 5 | 剰余金処分計算書          | 28 |
| 6 | 財政状態              | 29 |
| 7 | 資金の状況             | 31 |
| 8 | 経営分析              | 31 |
| 9 | 財務分析              | 32 |
|   | むすび               | 34 |
|   | 比較損益計算書（付表－1）     | 35 |
|   | 比較貸借対照表（付表－2）     | 36 |
|   | 比較キャッシュ・フロー（付表－3） | 38 |
|   | 経営分析に関する調べ（付表－4）  | 39 |
|   | 財務分析に関する調べ（付表－5）  | 40 |

### 注

- 1, 文中及び各表中の計数は、原則として表示単位未満を四捨五入しており、合計と内訳の計及び差引増減等が一致しない場合がある。
- 2, 各表中の符号の用法は、次のとおりである。  
「△」・・・・・・負数  
「―」・・・・・・皆無または該当数値がないもの

# 令和 3 年度奄美市公営企業会計決算審査意見

## 第 1 審査の対象

令和 3 年度奄美市公営企業会計決算（水道事業・下水道事業）

## 第 2 審査の期間

令和 4 年 6 月 1 7 日から同年 7 月 2 6 日まで

## 第 3 審査の方法

決算の審査にあたっては、市長から送付された決算書及び決算参考書類が地方公営企業関係法令の規定に基づいて作成されているか、決算の計数は正確であるか、財務諸表は当事業の経営成績及び財政状態を適正に表示しているかどうかを主眼に置き、決算書、関係諸帳簿及び証拠書類を照査するとともに、関係職員から説明を聴取し、さらに事業の経営内容を把握するため、前年度と比較検討しながら計数の分析を行うなどして慎重に審査した。

## 第 4 審査の結果

審査に付された決算報告書及び財務諸表などは、関係法令に準拠して作成され、その計数は正確であり、当年度の経営成績及び財政状態を適正に表示しているものと認めた。





# 水道事業会計



## 1 事業の概況

### (1) 給配水の状況

#### ア 給水戸数と給水人口

##### (ア) 旧上水道地区

当年度末の給水戸数は15,141戸で、前年度と比較して39戸(0.26%)減少し、当年度末の給水人口は26,020人で、前年度と比較して319人(1.21%)減少している。

##### (イ) 旧簡易水道地区

当年度末の給水戸数は8,300戸で、前年度と比較して72戸(0.88%)増加し、当年度末の給水人口は15,537人で、前年度と比較して19人(0.12%)増加している。

##### (ウ) 全体

当年度末の給水戸数は23,441戸で、前年度と比較して33戸(0.14%)増加し、当年度末の給水人口は41,557人で、前年度と比較して300人(0.72%)減少している。

#### イ 配水量及び有収水量等

##### (ア) 旧上水道地区

年間配水量は3,743,558 $\text{m}^3$ で、前年度と比較して164,043 $\text{m}^3$ (4.20%)減少し、年間有収水量は2,967,354 $\text{m}^3$ で、前年度と比較して51,354 $\text{m}^3$ (1.70%)減少している。

##### (イ) 旧簡易水道地区

年間配水量は2,091,230 $\text{m}^3$ で、前年度と比較して14,803 $\text{m}^3$ (0.71%)増加し、年間有収水量は1,921,932 $\text{m}^3$ で、前年度と比較して7,143 $\text{m}^3$ (0.37%)増加している。

##### (ウ) 全体

年間配水量は5,834,788 $\text{m}^3$ で、前年度と比較して149,240 $\text{m}^3$ (2.49%)減少し、年間有収水量は4,889,286 $\text{m}^3$ で、前年度と比較して44,211 $\text{m}^3$ (0.90%)減少している。

##### (エ) 無収水量(料金の対象とならない水量)

当年度は631 $\text{m}^3$ で、前年度と比較して3,333 $\text{m}^3$ (84.08%)減少している。

##### (オ) 有収率 $\left( \frac{\text{年間有収水量}}{\text{年間配水量}} \times 100 \right)$

旧上水道地区は79.27%で、前年度と比較して2.02ポイント増加し、旧簡易水道地区は91.90%で、前年度と比較して0.32ポイント減少し、全体では83.80%で、前年度と比較して1.36ポイント増加している。

※旧上水道地区：旧簡易水道地区以外の区域

※旧簡易水道地区：令和2年度上水道統合前の東部、西部、芦良、朝日、有仲、知根、東城、住用、山間及び市の区域

給水戸数（人口）及び配水量等の実績は、次表のとおりである。

### 旧上水道地区

| 区 分           |         | 単位             | 3 年 度<br>(A) | 2 年 度<br>(B) | 前 年 度 比 較    |           |
|---------------|---------|----------------|--------------|--------------|--------------|-----------|
|               |         |                |              |              | 増減 (A) - (B) | 増 減 率 (%) |
| 年度末給水区域内給水戸数  |         | 戸              | 15,141       | 15,180       | △39          | △0.26     |
| 年 度 末 給 水 人 口 |         | 人              | 26,020       | 26,339       | △319         | △1.21     |
| 配 水 量         | 年 間     | m <sup>3</sup> | 3,743,558    | 3,907,601    | △164,043     | △4.20     |
|               | 一 日 平 均 | m <sup>3</sup> | 10,256       | 10,706       | △450         | △4.20     |
| 有 収 水 量       | 年 間     | m <sup>3</sup> | 2,967,354    | 3,018,708    | △51,354      | △1.70     |
|               | 一 日 平 均 | m <sup>3</sup> | 8,130        | 8,270        | △140         | △1.69     |
| 有 収 率         |         | %              | 79.27        | 77.25        | ポイント<br>2.02 | —         |

### 旧簡易水道地区

| 区 分           |         | 単位             | 3 年 度<br>(A) | 2 年 度<br>(B) | 前 年 度 比 較     |           |
|---------------|---------|----------------|--------------|--------------|---------------|-----------|
|               |         |                |              |              | 増減 (A) - (B)  | 増 減 率 (%) |
| 年度末給水区域内給水戸数  |         | 戸              | 8,300        | 8,228        | 72            | 0.88      |
| 年 度 末 給 水 人 口 |         | 人              | 15,537       | 15,518       | 19            | 0.12      |
| 配 水 量         | 年 間     | m <sup>3</sup> | 2,091,230    | 2,076,427    | 14,803        | 0.71      |
|               | 一 日 平 均 | m <sup>3</sup> | 5,730        | 5,689        | 41            | 0.72      |
| 有 収 水 量       | 年 間     | m <sup>3</sup> | 1,921,932    | 1,914,789    | 7,143         | 0.37      |
|               | 一 日 平 均 | m <sup>3</sup> | 5,266        | 5,246        | 20            | 0.38      |
| 有 収 率         |         | %              | 91.90        | 92.22        | ポイント<br>△0.32 | —         |

### 全 体

| 区 分           |         | 単位             | 3 年 度<br>(A) | 2 年 度<br>(B) | 前 年 度 比 較    |           |
|---------------|---------|----------------|--------------|--------------|--------------|-----------|
|               |         |                |              |              | 増減 (A) - (B) | 増 減 率 (%) |
| 年度末給水区域内給水戸数  |         | 戸              | 23,441       | 23,408       | 33           | 0.14      |
| 年 度 末 給 水 人 口 |         | 人              | 41,557       | 41,857       | △300         | △0.72     |
| 配 水 量         | 年 間     | m <sup>3</sup> | 5,834,788    | 5,984,028    | △149,240     | △2.49     |
|               | 一 日 平 均 | m <sup>3</sup> | 15,986       | 16,395       | △409         | △2.49     |
| 有 収 水 量       | 年 間     | m <sup>3</sup> | 4,889,286    | 4,933,497    | △44,211      | △0.90     |
|               | 一 日 平 均 | m <sup>3</sup> | 13,395       | 13,516       | △121         | △0.90     |
| 有 収 率         |         | %              | 83.80        | 82.44        | ポイント<br>1.36 | —         |

## (2) 建設改良事業

ア 建設改良費の決算額は400,717,033円で、前年度と比較して485,959,397円(54.81%)減少している。

その主な理由は、簡易水道整備費（繰越）、東部地区再編推進事業（繰越）などである。

イ 工事請負費の決算額は261,297,000円で、予算現額1,017,436,000円に対し25.68%の執行率となっている。なお、令和4年度への繰越額719,956,000円の内、工事費は令和3年度用安地区汚水管路施設工事（1工区）に伴う水道管布設工事他9件の合計金額162,405,600円となっている。

## 2 予算の執行状況

予算は当初予算に2回の補正が行われ、決算報告書に示されている予算額は議決予算額と符合し、また、決算額は勘定科目ごとに総勘定内訳書及び当年度末の合計残高試算表の数値と一致している。

### (1) 収益的収入及び支出

収益的収入は、予算額1,253,073,000円に対し、決算額1,244,075,938円で、予算額に比べ8,997,062円の減、収入率は99.28%となっている。

収益的支出は、予算額1,211,659,000円に対し、決算額1,137,106,576円で、予算額に比べ74,552,424円の不用額が生じ、執行率は93.85%となっている。不用額の主なものは、営業費用65,101,624円である。

### 収益的収入及び支出

収入

(単位：円，%)

| 区 分         | 3 年 度         |               |             |        | 2 年 度         | 前 年 度 比 較        |       |
|-------------|---------------|---------------|-------------|--------|---------------|------------------|-------|
|             | 予 算 額         | 決 算 額<br>(A)  | 増 減         | 収 入 率  | 決 算 額<br>(B)  | 増 減<br>(A) - (B) | 増 減 率 |
| 1 営 業 収 益   | 966,917,000   | 956,478,590   | △10,438,410 | 98.92  | 958,882,690   | △2,404,100       | △0.25 |
| 2 営 業 外 収 益 | 286,156,000   | 287,597,348   | 1,441,348   | 100.50 | 291,528,786   | △3,931,438       | △1.35 |
| 計           | 1,253,073,000 | 1,244,075,938 | △8,997,062  | 99.28  | 1,250,411,476 | △6,335,538       | △0.51 |

支 出

(単位：円，%)

| 区 分         | 3 年 度         |               |            |       | 2 年 度         | 前 年 度 比 較        |       |
|-------------|---------------|---------------|------------|-------|---------------|------------------|-------|
|             | 予 算 額         | 決 算 額<br>(A)  | 不 用 額      | 執 行 率 | 決 算 額<br>(B)  | 増 減<br>(A) - (B) | 増 減 率 |
| 1 営 業 費 用   | 1,162,441,000 | 1,097,339,376 | 65,101,624 | 94.40 | 1,083,885,585 | 13,453,791       | 1.24  |
| 2 営 業 外 費 用 | 44,218,000    | 39,767,200    | 4,450,800  | 89.93 | 25,711,011    | 14,056,189       | 54.67 |
| 3 予 備 費     | 5,000,000     | 0             | 5,000,000  | 0.00  | 0             | 0                | —     |
| 特 別 損 失     | —             | —             | —          | —     | 1,839,400     | △1,839,400       | 皆減    |
| 計           | 1,211,659,000 | 1,137,106,576 | 74,552,424 | 93.85 | 1,111,435,996 | 25,670,580       | 2.31  |

## (2) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算額779,600,000円に対し、決算額163,242,600円で、予算額に比べ616,357,400円の減、収入率は20.94%となっている。決算額の減は、主に企業債が364,100,000円、出資金が239,900,000円それぞれ減となったことによるものである。

資本的支出は、予算額1,366,384,000円に対し、決算額576,471,355円で、さらに翌年度繰越額719,956,000円を除くと予算額に比べ69,956,645円の不用額が生じている。執行率は42.19%となっている。不用額の主なものは、建設改良費62,787,967円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額413,228,755円は、過年度分損益勘定留保資金381,586,510円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額31,642,245円で補てんされている。

### 資本的収入及び支出

#### 収入

(単位：円，%)

| 区 分                | 3 年 度       |              |              |       | 2 年 度        | 前 年 度 比 較        |        |
|--------------------|-------------|--------------|--------------|-------|--------------|------------------|--------|
|                    | 予 算 額       | 決 算 額<br>(A) | 増 減          | 収 入 率 | 決 算 額<br>(B) | 増 減<br>(A) - (B) | 増 減 率  |
| 1 企 業 債            | 467,500,000 | 103,400,000  | △364,100,000 | 22.12 | 402,100,000  | △298,700,000     | △74.29 |
| 2 工 事 負 担 金        | 28,700,000  | 16,342,600   | △12,357,400  | 56.94 | 12,344,316   | 3,998,284        | 32.39  |
| 3 出 資 金            | 283,400,000 | 43,500,000   | △239,900,000 | 15.35 | 0            | 43,500,000       | 皆増     |
| 国 庫 補 助 金          | —           | —            | —            | —     | 139,367,000  | △139,367,000     | 皆減     |
| 固 定 資 産<br>売 却 代 金 | —           | —            | —            | —     | 5,125,500    | △5,125,500       | 皆減     |
| 計                  | 779,600,000 | 163,242,600  | △616,357,400 | 20.94 | 558,936,816  | △395,694,216     | △70.79 |

#### 支出

(単位：円，%)

| 区 分            | 3 年 度         |              |                |            |       | 2 年 度         | 前 年 度 比 較        |        |
|----------------|---------------|--------------|----------------|------------|-------|---------------|------------------|--------|
|                | 予 算 額         | 決 算 額<br>(A) | 翌 年 度<br>繰 越 額 | 不 用 額      | 執 行 率 | 決 算 額<br>(B)  | 増 減<br>(A) - (B) | 増 減 率  |
| 1 建 設 改 良 費    | 1,183,461,000 | 400,717,033  | 719,956,000    | 62,787,967 | 33.86 | 886,676,430   | △485,959,397     | △54.81 |
| 2 企 業 債<br>還 金 | 182,923,000   | 175,754,322  | 0              | 7,168,678  | 96.08 | 170,614,471   | 5,139,851        | 3.01   |
| 計              | 1,366,384,000 | 576,471,355  | 719,956,000    | 69,956,645 | 42.19 | 1,057,290,901 | △480,819,546     | △45.48 |

|               |              |
|---------------|--------------|
| 決算額差引額（収入－支出） | △413,228,755 |
|---------------|--------------|

## 企 業 債 推 移

(単位：円)

| 年 度 | 借 入 額       | 償 還 額       | 年 度 末 残 額     |
|-----|-------------|-------------|---------------|
| 29  | 488,800,000 | 131,045,272 | 2,641,800,300 |
| 30  | 207,400,000 | 142,849,485 | 2,706,350,815 |
| 元   | 318,900,000 | 158,865,573 | 2,866,385,242 |
| 2   | 402,100,000 | 170,614,471 | 3,097,870,771 |
| 3   | 103,400,000 | 175,754,322 | 3,025,516,449 |

### (3) 流用禁止事項

当初予算第7条、補正予算（第1号）第5条及び補正予算（第2号）第4条の規定で定めた、議会の議決を経なければ流用することのできない職員給与費については、議決予算の範囲内において執行されている。

(単位：円, %)

| 区 分       | 議 決 予 算 額   | 執 行 済 額     | 不 用 額     | 執 行 率 |
|-----------|-------------|-------------|-----------|-------|
| 職 員 給 与 費 | 188,850,000 | 186,299,349 | 2,550,651 | 98.65 |

(注) 職員給与費は、資本的支出を含む。(執行済額は、引当金取崩額を除く。)

### (4) 他会計からの補助金

当初予算第8条水道事業運営のため一般会計から補助を受ける金額103,652,000円は、令和3年度は収益的収入の他会計補助金として99,005,000円を受け入れ、減価償却費等に充てている。

## 3 経営成績

損益計算書は、企業の経営成績を明らかにするため、当年度に発生したすべての収益及び費用を表示するもので、「付表-1 (P16)」のとおりである。

当年度は、総収益1,157,710,869円に対し、総費用1,082,383,752円で、差引き75,327,117円の純利益となっている。

これを前年度と比較すると、総収益は3,459,619円減少、総費用は1,578,614円減少し、純利益は1,881,005円減少している。

総収益が減少した要因は、営業収益が2,175,199円、営業外収益が1,284,420円それぞれ減少したことによるものである。

営業収益減少の主な要因は、給水収益が3,829,846円減少したためである。

営業外収益減少の主な要因は、受取利息が399,538円、資本費繰入収益が86,322,000円、長期前受金戻入が406,477円減少したためである。

総費用が減少した要因は、営業費用は11,686,507円増加したものの、営業外費用が11,425,721円、特別損失が1,839,400円それぞれ減少したことによるものである。

営業費用増加の主な要因は、原水及び浄水費が24,875,896円、業務費が12,081,484円、総係費が598,404円、減価償却費が10,775,909円増加したためである。

営業外費用減少の要因は、支払利息が1,927,267円、雑支出が9,498,454円減少したためである。

特別損失は1,839,400円減少し、0円となっている。

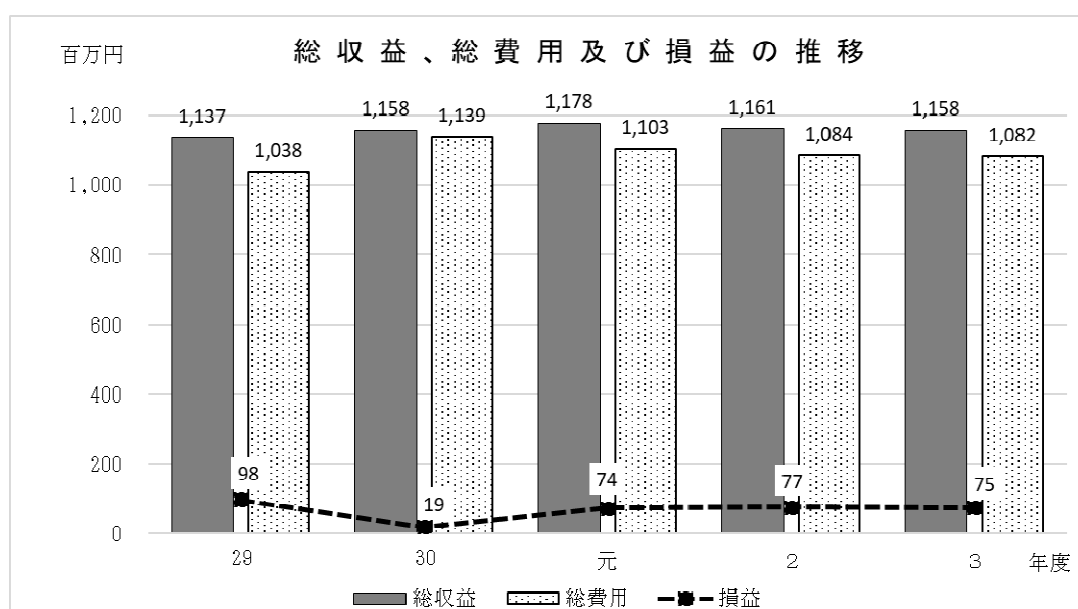
過去5か年間における経営成績の推移及び費用の構成状況は、次表のとおりである。

### 経営成績推移

(単位：円，%)

| 年 度 | 総 収 益 (A)     |        | 総 費 用 (B)     |        | 損 益<br>(A) - (B) | 収 支 比 率<br>(A) ÷ (B) |
|-----|---------------|--------|---------------|--------|------------------|----------------------|
|     | 金 額           | 指 数    | 金 額           | 指 数    |                  |                      |
| 29  | 1,136,856,420 | 100.00 | 1,038,481,697 | 100.00 | 98,374,723       | 109.47               |
| 30  | 1,157,614,756 | 101.83 | 1,138,928,339 | 109.67 | 18,686,417       | 101.64               |
| 元   | 1,177,614,538 | 103.59 | 1,103,277,146 | 106.24 | 74,337,392       | 106.74               |
| 2   | 1,161,170,488 | 102.14 | 1,083,962,366 | 104.38 | 77,208,122       | 107.12               |
| 3   | 1,157,710,869 | 101.83 | 1,082,383,752 | 104.23 | 75,327,117       | 106.96               |

※ 指数は、平成29年度を100として算出した。





## 性質別費用構成表

(単位：円，%)

| 区 分       | 3 年 度 (A)     |        | 2 年 度 (B)     |        | 前 年 度 比 較        |        |
|-----------|---------------|--------|---------------|--------|------------------|--------|
|           | 金 額           | 構 成 比  | 金 額           | 構 成 比  | 金 額<br>(A) - (B) | 増 減 率  |
| 職 員 給 与 費 | 135,603,845   | 12.53  | 118,139,749   | 10.90  | 17,464,096       | 14.78  |
| 退 職 給 付 費 | —             | —      | 20,028,000    | 1.85   | △20,028,000      | 皆減     |
| 委 託 料     | 148,496,221   | 13.72  | 149,969,185   | 13.84  | △1,472,964       | △0.98  |
| 修 繕 費     | 37,052,309    | 3.42   | 28,017,423    | 2.58   | 9,034,886        | 32.25  |
| 量 水 器 費   | 5,125,200     | 0.47   | 6,132,896     | 0.57   | △1,007,696       | △16.43 |
| 動 力 費     | 53,579,797    | 4.95   | 51,256,459    | 4.73   | 2,323,338        | 4.53   |
| 薬 品 費     | 22,123,055    | 2.04   | 24,554,440    | 2.27   | △2,431,385       | △9.90  |
| 減 価 償 却 費 | 564,104,236   | 52.12  | 553,328,327   | 51.05  | 10,775,909       | 1.95   |
| 資 産 減 耗 費 | 12,468,542    | 1.15   | 15,273,415    | 1.41   | △2,804,873       | △18.36 |
| 支 払 利 息   | 18,633,939    | 1.72   | 20,561,206    | 1.90   | △1,927,267       | △9.37  |
| そ の 他     | 85,196,608    | 7.87   | 96,701,266    | 8.92   | △11,504,658      | △11.90 |
| 計         | 1,082,383,752 | 100.00 | 1,083,962,366 | 100.00 | △1,578,614       | △0.15  |

### 4 剰余金計算書

この計算書は、利益剰余金がその年度中にどのように増減変動したかを表示するもので、その内容は次のとおりである。

#### (1) 利益剰余金

ア 減債積立金は前年度末残高620,000,000円で、前年度処分額及び当年度変動額がないので、当年度末残高は同額の620,000,000円となっている。

イ 建設改良積立金は前年度末残高1,273,000,000円で、前年度処分額及び当年度変動額がないので、当年度末残高は同額の1,273,000,000円となっている。

ウ 前年度の未処分利益剰余金は272,099,149円であり、前年度処分額がないので、これに当年度の純利益75,327,117円を加えると、当年度末の未処分利益剰余金は347,426,266円となっている。

### 5 剰余金処分計算書

決算による当年度末の資本金は7,226,772,003円、未処分利益剰余金は347,426,266円となっており、当年度処分額がないので同額が翌年度へ繰越される。

## 6 財政状態

貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、当年度末現在において企業が保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表示するもので、「付表－2（P17, 18）」のとおりである。

### (1) 資産

資産総額は16,344,093,137円で、前年度と比較して108,940,441円（0.66%）減少している。

これは、固定資産は207,208,498円減少し、流動資産は98,268,057円増加したことによるものである。

#### ア 固定資産

固定資産は13,083,637,861円で、資産総額の80.05%を占め、前年度と比較して207,208,498円（1.56%）減少している。

有形固定資産で増加した主なものは、量水器1,055,920円、建設仮勘定166,237,925円であり、減少した主なものは、構築物162,439,969円、機械及び装置161,058,115円等である。

また、令和3年度奄美市水道事業決算書32ページの固定資産明細書の有形固定資産減価償却累計額9,955,286,860円は、前年度の累計額が9,428,161,277円であったが、これに当年度増加高535,319,378円を加え、旧簡易水道構築物等の除却に伴う減少額8,193,795円を控除したものである。

無形固定資産（ダム使用权及びその他無形固定資産）は334,771,925円で、前年度と比較し28,784,858円（7.92%）減少している。

#### イ 流動資産

流動資産は3,260,455,276円で、資産総額の19.95%を占め、前年度と比較して98,268,057円（3.11%）増加している。

これは主として、現金預金が194,777,666円増加し、未収金が120,052,169円減少したことによるものである。

(ア) 現金預金の年度末現在高は3,131,274,771円で、このうち3,131,064,771円を各金融機関に預け入れているほか、釣り銭用として手元に210,000円の現金を保管している。

(イ) 当年度末現在の未収金は7,749件で64,805,534円となっており、前年度決算と比較して件数で276件減少し、金額で119,770,493円減少している。

なお、前年度比較を水道料金に限ると251件、金額では622,482円減少している。

また、当年度は水道料金461,187円（287件）を、不納欠損として処理している。これを前年度と比較すると、件数では35件増加したが、不納欠損額では534,612円減少している。

この不納欠損処分は、転出未払・所在不明・死亡等によるものであり、やむを得ないものと認められる。

未収金対策については、改善傾向にあると認められる。引き続き受給者負担の公平の観点から、関係法令に基づく適切な措置を講じ、的確な債権確保を図るよう望むものである。

水道料金に係る未収金の状況は、次表のとおりである。

### 水道料金に係る未収金の状況

(単位：円，件，%)

| 年 度          | 調 定         | 収 入         | 未 収   |            | 徴 収 率  |
|--------------|-------------|-------------|-------|------------|--------|
|              | 金 額         | 金 額         | 件 数   | 金 額        |        |
| 26           | 49,402      | 33,148      | 2     | 16,254     | 67.10  |
| 27           | 22,230      | 22,230      | 0     | 0          | 100.00 |
| 28           | 236,794     | 231,589     | 19    | 5,205      | 97.80  |
| 29           | 575,327     | 138,227     | 173   | 437,100    | 24.03  |
| 30           | 427,359     | 105,971     | 128   | 321,388    | 24.80  |
| 元            | 429,227     | 218,411     | 142   | 210,816    | 50.88  |
| 2            | 20,429,070  | 20,006,582  | 115   | 422,488    | 97.93  |
| 3            | 920,590,840 | 899,938,840 | 7,155 | 20,652,000 | 97.76  |
| 当年度末 (A)     | 942,760,249 | 920,694,998 | 7,734 | 22,065,251 | 97.66  |
| 前年度末 (B)     | 949,625,419 | 926,937,686 | 7,985 | 22,687,733 | 97.61  |
| 増減 (A) - (B) | △6,865,170  | △6,242,688  | △251  | △622,482   | 0.05   |
| 比率 A/B       | 99.28       | 99.33       | 96.86 | 97.26      | —      |

(ウ) 貯蔵品（原材料，量水器）は，前年度残高3,450,450円で当年度の受入額及び払い出しはなく，最終仕入原価評価に伴う損益により487,440円を減額し，当年度末残高は2,963,010円となっている。

## (2) 負債

負債総額は6,876,894,868円で前年度と比較して227,767,558円（3.21%）減少している。

### ア 固定負債

固定負債（企業債及び修繕引当金等）は3,023,437,783円で，負債・資本総額の18.50%を占め，前年度と比較して76,227,665円（2.46%）減少している。これは，建設改良費等の財源に充てるための企業債が減少したためである。

### イ 流動負債

流動負債（貸借対照表日の翌日から起算して1年以内に支払い，又は返還の期限が到来する短期の債務である未払金など）は329,488,787円で，負債・資本総額の2.02%を占め，前年度と比較して17,263,771円（5.53%）増加している。これは預り金6,156,840円等が増加したためである。

(ア) 預り金46,323,315円は下水道料金41,716,189円，農業集落排水料金3,054,180円，船舶給水補償金200,000円，公金収納取扱事務担保金800,000円，下水道受益者負担金預り金60,000円，過誤納金預り金492,946円である。

(イ) その他流動負債は0円である。

## ウ 繰延収益

繰延収益3,523,968,298円は、長期前受金7,787,187,813円から収益化累計額4,263,219,515円を控除した金額で、前年度と比較して168,803,664円（4.57%）減少している。固定資産の取得または改良に充てるために交付を受けた補助金等については、長期前受金として計上されている。また、取得した固定資産の減価償却見合い分を収益化し累計額を長期前受金収益化累計額として計上している。

## (3) 資本

資本合計は9,467,198,269円で前年度と比較して118,827,117円（1.27%）増加している。

### ア 資本金

資本金は7,226,772,003円で負債・資本総額の44.22%を占め、前年度と比較して43,500,000円（0.61%）増加している。

### イ 剰余金

剰余金は2,240,426,266円で、負債・資本総額の13.71%を占め、前年度と比較して75,327,117円（3.48%）増加している。これは、利益剰余金の当年度未処分利益剰余金が増加したことによるものである。

## 7 資金の状況

当年度末における業務活動によるキャッシュ・フローは576,166,228円、投資活動によるキャッシュ・フローは△352,534,240円、財務活動によるキャッシュ・フローは△28,854,322円であり、資金期末残高は3,131,274,771円である。付表－3（P19）参照

## 8 経営分析

企業の経営成績については既に述べてきたが、さらにその主な項目を分析すると次のとおりである。

なお、その他の項目については、「付表－4（P20）」を参照されたい。

### (1) 負荷率

負荷率（ $\frac{1日平均配水量}{1日最大配水量}$ ）は88.34%で、前年度と比較して2.60ポイント減少している。

なお、この比率は100%に近づけば近づくほど施設の効率が良いとされており、比率の向上に努力されたい。

### (2) 施設利用率

水道施設の利用状況の良否を総合的に表示する施設利用率（ $\frac{1日平均配水量}{1日配水能力}$ ）は70.00%で、前年度と比較して5.68ポイント減少している。比率が高いほど施設が効果的に運用されていることになり、施設利用率の向上に努力されたい。（注）施設利用率＝負荷率×最大稼働率でもある。

(3) 最大稼働率

最大稼働率  $(\frac{1日最大配水量}{1日配水能力})$  は79.24%で、前年度と比較して3.98ポイント減少している。

(4) 給水原価

給水原価（給水量1 m<sup>3</sup>あたりに要した費用）は183円51銭で、前年度と比較して1円78銭(0.98%)高くなっている。

(5) 供給単価

供給単価（給水量1 m<sup>3</sup>あたりの価格）は171円18銭で、前年度と比較して76銭(0.45%)高くなっている。

給水量1 m<sup>3</sup>あたり171円18銭の水道料金を得るのに対し、183円51銭の経費が掛かっており、1 m<sup>3</sup>あたりの販売利益は12円33銭の赤字となっている。これは、減価償却費などの費用が増加していることが主な要因である。

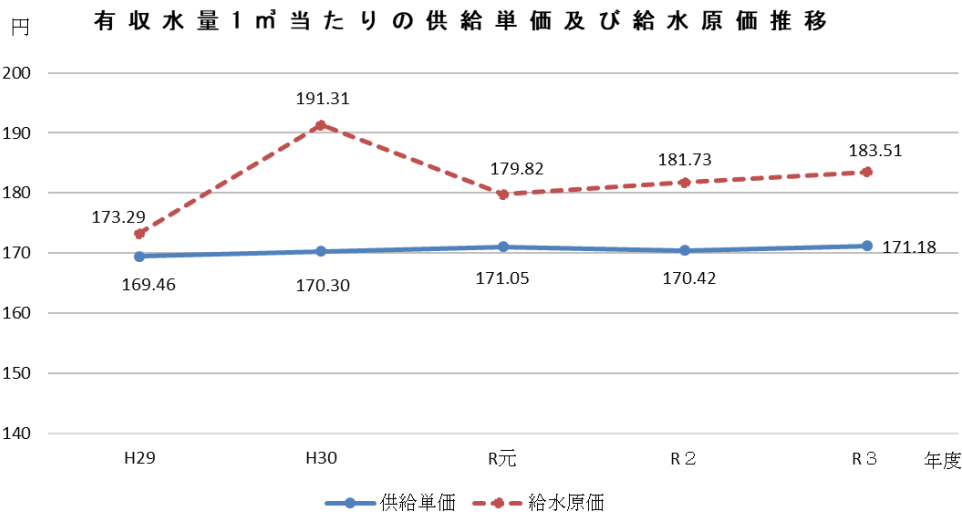
有収水量1 m<sup>3</sup>あたりの給水原価及び供給単価は、次表のとおりである。

**有収水量1 m<sup>3</sup>あたりの給水原価及び供給単価**

(単位：円)

| 区 分              |         | 3 年 度                 |                                    |                                | 2 年 度                          | 増 減<br>(A) - (B) |
|------------------|---------|-----------------------|------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|------------------|
|                  |         | 金 額                   | 配水量及び<br>有収水量                      | 1 m <sup>3</sup> 当りの<br>金額 (A) | 1 m <sup>3</sup> 当りの<br>金額 (B) |                  |
| 直接<br>原<br>価     | 原水及び浄水費 | 115,692,024           | (配水量m <sup>3</sup> )<br>5,834,788  | 19.83                          | 15.18                          | 4.65             |
|                  | 配水及び給水費 | 233,359,096           | "                                  | 39.99                          | 42.74                          | △2.75            |
|                  | 計       | 349,051,120           | "                                  | 59.82                          | 57.92                          | 1.90             |
| 間<br>接<br>原<br>価 | 業務費・総係費 | 132,641,643           | "                                  | 22.73                          | 20.05                          | 2.68             |
|                  | 減価償却費   | 581,337,806           | "                                  | 99.63                          | 97.73                          | 1.90             |
|                  | 資産減耗費   |                       |                                    |                                |                                |                  |
|                  | その他営業費用 |                       |                                    |                                |                                |                  |
|                  | 支払利息    | 19,353,183            | "                                  | 3.32                           | 5.14                           | △1.82            |
|                  | 雑支出     | 733,332,632           | "                                  | 125.68                         | 122.92                         | 2.76             |
| 計                |         |                       |                                    |                                |                                |                  |
| 合 計              |         | 1,082,383,752         | "                                  | ア 185.51                       | 180.84                         | 4.67             |
| 漏水その他の損失         |         | (イ - ア)               |                                    | △2.00                          | 0.89                           | △2.89            |
| 給水原価(販売原価)       |         | 897,237,488           | (有収水量m <sup>3</sup> )<br>4,889,286 | イ 183.51                       | 181.73                         | 1.78             |
| 販 売 利 益          |         | (ウ - イ)               |                                    | △12.33                         | △11.31                         | △1.02            |
| 供給単価(販売価格)       |         | (水道料金)<br>836,960,210 | (有収水量m <sup>3</sup> )<br>4,889,286 | ウ 171.18                       | 170.42                         | 0.76             |

(注) 給水原価は、受託工事費、材料売却原価及び長期前受金戻入を除く。



## 9 財務分析

企業の財政状態については既に述べてきたが、さらにその主な項目を分析すると次のとおりである。

なお、その他の項目については、「付表-5 (P21)」を参照されたい。

### 水道事業会計財務分析

(単位：%)

| 区 分  |             | 年 度    |          | 備 考  | 理 想 比 率 |
|------|-------------|--------|----------|--|---------|
|      |             | 3 年 度  | 2 年 度    |  |         |
| 健全性  | 自己資本率       | 79.49  | 79.26    | 資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益<br>$\frac{12,991,166,567}{16,344,093,137} \times 100$ | 50%以上   |
|      |             |        |          | 負債+資本  |         |
| 支払能力 | 流動比率        | 989.55 | 1,012.79 | 流動資産<br>$\frac{3,260,455,276}{329,488,787} \times 100$                   | 200%以上  |
|      | 当座比率        | 969.79 | 999.48   | 現金預金+(未収金-貸倒引当金)<br>$\frac{3,195,342,266}{329,488,787} \times 100$       | 100%以上  |
|      | 現金比率        | 950.34 | 940.51   | 現金預金<br>$\frac{3,131,274,771}{329,488,787} \times 100$                   | 100%以上  |
| 安全性  | 総収益対総費用比率   | 106.96 | 107.12   | 総収益<br>$\frac{1,157,710,869}{1,082,383,752} \times 100$                  |         |
|      | 営業収益対営業費用比率 | 81.86  | 82.97    | 営業収益-受託工事収益<br>$\frac{870,177,115}{1,063,030,569} \times 100$            |         |
|      |             |        |          | 営業費用-受託工事費用  |         |

付表-1, 付表-2 参照

※支払能力の各比率が高い要因は、現金預金の保有率が高いためである。

### (1) 健全性

自己資本構成比率によって企業会計の健全性が示されるが、この比率が大きければ経営の安全性は高いと判断される。

本年度は79.49%で、前年度と比較して0.23ポイント上回っており、健全性は保たれている。

### (2) 支払能力

支払能力は、流動比率、当座比率及び現金比率によって判断されるが、前年度より流動比率が23.24ポイント、当座比率が29.69ポイントそれぞれ減少したが、現金比率は9.83ポイント増加し、依然として高い比率である。各比率が理想比率を大きく上回っているのは、現金預金の保有比率が高いことが主な要因であり、支払能力は十分にあることを示している。

### (3) 安全性

総収益対総費用比率は106.96%で前年度と比較して0.16ポイント下回っており、営業収益対営業費用比率も81.86%で前年度と比較して1.11ポイント下回った。しかしながら、総収益が総費用を上回っていることから安全性は保たれているものと認められる。

## む す び

以上、令和3年度水道事業会計決算について、その審査結果を述べてきた。水道は、市民生活に欠かすことのできない重要なライフラインであり、水道事業は、安全で安心な水を安定して供給するという重要な役割を担っている。

今年度は名瀬地区・住用地区・笠利地区の配水施設整備事業として汚水管布設工事に伴う水道管布設工事、橋梁補修工事に伴う水道管移設工事や、東部地区再編推進事業として東部浄水場の薬品沈殿池、管理棟の築造など安定した給水事業の促進に努めてきた。

財務状況については、現金保有比率が高いことから流動比率等が安定しており、健全性、支払能力、安全性は保たれていると認められる。このうち安全性に関しては、営業収益対営業費用比率が減少したことから、人口減少等による収益減少を見据え中長期的な視点からの業務効率化が求められる。

経営状況については、経営努力により今年度も純利益（黒字）が75,327,117円計上されている。未処分利益剰余金も347,426,266円計上されており、将来的なことを見据えた計画・活動を検討する時期に来ているのではと考える。

一方、供給単価から給水原価を差し引いた1m<sup>3</sup>当たりの販売利益は12円33銭の赤字を計上している。これは大規模な建設改良事業に伴う固定資産の更新、償却に要する費用の増加が主な要因であるものの、給水収益の増加が見込まれない状況において適切な販売利益を確保するために水道事業経営戦略等の中長期的な経営計画に基づいた対策が求められている。

今後も、給水人口の減少や給水管の老朽化を原因とした漏水による料金収入の減少、大規模な更新時期到来による水道施設更新など水道事業を取り巻く環境は、さらに厳しさを増していくことが予想される。また、新型コロナウイルス、台風等自然災害など不測の事態においても安定的に給水を行える施設を含めた体制の整備も求められている。

将来的な水需要の推移を見据えながら、リスクに対する備えにも配慮した水道施設の更新、適切な維持管理による施設の効率化・長寿命化、国の財源措置等の活用など、引き続き健全経営を堅持し、より安全で良質な水道水を安定して供給されることを期待する。



## 比較損益計算書

付表－1

(収入の部)

(単位：円，%)

| 勘定科目    | 3 年 度         |        | 2 年 度         |        | 前 年 度 比 較    |        |
|---------|---------------|--------|---------------|--------|--------------|--------|
|         | 金額 (A)        | 構成比    | 金額 (B)        | 構成比    | 増減 (A) - (B) | 増減率    |
| 1 営業収益  | 870,177,115   | 75.16  | 872,352,314   | 75.13  | △2,175,199   | △0.25  |
| 給水収益    | 836,960,210   | 72.29  | 840,790,056   | 72.41  | △3,829,846   | △0.46  |
| 受託工事収益  | 2,358,330     | 0.20   | 2,140,310     | 0.18   | 218,020      | 10.19  |
| その他営業収益 | 30,858,575    | 2.67   | 29,421,948    | 2.53   | 1,436,627    | 4.88   |
| 2 営業外収益 | 287,533,754   | 24.84  | 288,818,174   | 24.87  | △1,284,420   | △0.44  |
| 受取利息    | 1,743,227     | 0.15   | 2,142,765     | 0.18   | △399,538     | △18.65 |
| 雑収益     | 1,639,263     | 0.14   | 1,385,818     | 0.12   | 253,445      | 18.29  |
| 他会計補助金  | 99,005,000    | 8.55   | 13,414,850    | 1.16   | 85,590,150   | 638.03 |
| 資本費繰入収益 | 0             | 0.00   | 86,322,000    | 7.43   | △86,322,000  | 皆減     |
| 長期前受金戻入 | 185,146,264   | 15.99  | 185,552,741   | 15.98  | △406,477     | △0.22  |
| 合 計     | 1,157,710,869 | 100.00 | 1,161,170,488 | 100.00 | △3,459,619   | △0.30  |

(支出の部)

|               |               |        |               |        |             |        |
|---------------|---------------|--------|---------------|--------|-------------|--------|
| 1 営業費用        | 1,063,030,569 | 98.21  | 1,051,344,062 | 96.99  | 11,686,507  | 1.11   |
| 原水及び浄水費       | 115,692,024   | 10.69  | 90,816,128    | 8.38   | 24,875,896  | 27.39  |
| 配水及び給水費       | 233,359,096   | 21.56  | 255,771,779   | 23.60  | △22,412,683 | △8.76  |
| 業務費           | 78,926,758    | 7.29   | 66,845,274    | 6.17   | 12,081,484  | 18.07  |
| 総係費           | 53,714,885    | 4.96   | 53,116,481    | 4.90   | 598,404     | 1.13   |
| 減価償却費         | 564,104,236   | 52.12  | 553,328,327   | 51.05  | 10,775,909  | 1.95   |
| 資産減耗費         | 12,468,542    | 1.15   | 15,273,415    | 1.41   | △2,804,873  | △18.36 |
| その他営業費用       | 4,765,028     | 0.44   | 16,192,658    | 1.49   | △11,427,630 | △70.57 |
| 2 営業外費用       | 19,353,183    | 1.79   | 30,778,904    | 2.84   | △11,425,721 | △37.12 |
| 支払利息          | 18,633,939    | 1.72   | 20,561,206    | 1.90   | △1,927,267  | △9.37  |
| 雑支出           | 719,244       | 0.07   | 10,217,698    | 0.94   | △9,498,454  | △92.96 |
| 3 特別損失        | 0             | 0.00   | 1,839,400     | 0.17   | △1,839,400  | 皆減     |
| 固定資産売却損       | 0             | 0.00   | 1,839,400     | 0.17   | △1,839,400  | 皆減     |
| その他特別損失       | 0             | 0.00   | 0             | 0.00   | 0           | —      |
| 合 計           | 1,082,383,752 | 100.00 | 1,083,962,366 | 100.00 | △1,578,614  | △0.15  |
| 当 年 度 経 常 利 益 | 75,327,117    |        | 79,047,522    |        | △3,720,405  | △4.71  |
| 当 年 度 純 利 益   | 75,327,117    |        | 77,208,122    |        | △1,881,005  | △2.44  |

## 比較貸借対照表

付表—2

(単位：円、%)

| 科 目        | 3 年 度          |        | 2 年 度          |        | 前 年 度 比 較     |        |
|------------|----------------|--------|----------------|--------|---------------|--------|
|            | 金 額 (A)        | 構 成 比  | 金 額 (B)        | 構 成 比  | 増 減 (A) - (B) | 増 減 率  |
| 1 固定資産     | 13,083,637,861 | 80.05  | 13,290,846,359 | 80.78  | △207,208,498  | △1.56  |
| (1) 有形固定資産 | 12,748,865,936 | 78.00  | 12,927,289,576 | 78.57  | △178,423,640  | △1.38  |
| イ 土地       | 286,521,287    | 1.75   | 286,521,287    | 1.74   | 0             | 0.00   |
| ロ 立木       | 9,686,000      | 0.06   | 9,686,000      | 0.06   | 0             | 0.00   |
| ハ 建物       | 747,842,837    | 4.58   | 766,953,899    | 4.66   | △19,111,062   | △2.49  |
| ニ 構築物      | 8,500,000,505  | 52.01  | 8,662,440,474  | 52.65  | △162,439,969  | △1.88  |
| ホ 機械及び装置   | 2,022,931,701  | 12.38  | 2,183,989,816  | 13.27  | △161,058,115  | △7.37  |
| ヘ 量水器      | 54,398,485     | 0.33   | 53,342,565     | 0.32   | 1,055,920     | 1.98   |
| ト 車両運搬具    | 6,979,637      | 0.04   | 6,983,193      | 0.04   | △3,556        | △0.05  |
| チ 工具器具及び備品 | 20,273,160     | 0.12   | 23,377,943     | 0.14   | △3,104,783    | △13.28 |
| リ 建設仮勘定    | 1,100,232,324  | 6.73   | 933,994,399    | 5.68   | 166,237,925   | 17.80  |
| (2) 無形固定資産 | 334,771,925    | 2.05   | 363,556,783    | 2.21   | △28,784,858   | △7.92  |
| ダム使用権      | 298,191,561    | 1.82   | 317,831,328    | 1.93   | △19,639,767   | △6.18  |
| その他無形固定資産  | 36,580,364     | 0.22   | 45,725,455     | 0.28   | △9,145,091    | △20.00 |
| 2 流動資産     | 3,260,455,276  | 19.95  | 3,162,187,219  | 19.22  | 98,268,057    | 3.11   |
| (1) 現金預金   | 3,131,274,771  | 19.16  | 2,936,497,105  | 17.85  | 194,777,666   | 6.63   |
| (2) 未収金    | 64,067,495     | 0.39   | 184,119,664    | 1.12   | △120,052,169  | △65.20 |
| 未収金        | 64,805,534     | 0.40   | 184,576,027    | 1.12   | △119,770,493  | △64.89 |
| 貸倒引当金      | △738,039       | △0.00  | △456,363       | △0.00  | △281,676      | △61.72 |
| (3) 貯蔵品    | 2,963,010      | 0.02   | 3,450,450      | 0.02   | △487,440      | △14.13 |
| (4) 前払金    | 62,150,000     | 0.38   | 38,120,000     | 0.23   | 24,030,000    | 63.04  |
| 資 産 合 計    | 16,344,093,137 | 100.00 | 16,453,033,578 | 100.00 | △108,940,441  | △0.66  |

(単位：円、%)

| 科 目                   | 3 年 度          |        | 2 年 度          |        | 前 年 度 比 較     |       |
|-----------------------|----------------|--------|----------------|--------|---------------|-------|
|                       | 金 額 (A)        | 構 成 比  | 金 額 (B)        | 構 成 比  | 増 減 (A) - (B) | 増 減 率 |
| 3 固定負債                | 3,023,437,783  | 18.50  | 3,099,665,448  | 18.84  | △76,227,665   | △2.46 |
| (1) 企業債               | 2,845,888,783  | 17.41  | 2,922,116,448  | 17.76  | △76,227,665   | △2.61 |
| イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 | 2,845,888,783  | 17.41  | 2,922,116,448  | 17.76  | △76,227,665   | △2.61 |
| (2) 引当金               | 177,549,000    | 1.09   | 177,549,000    | 1.08   | 0             | 0.00  |
| イ 修繕引当金               | 177,549,000    | 1.09   | 177,549,000    | 1.08   | 0             | 0.00  |
| 4 流動負債                | 329,488,787    | 2.02   | 312,225,016    | 1.90   | 17,263,771    | 5.53  |
| (1) 企業債               | 179,627,666    | 1.10   | 175,754,323    | 1.07   | 3,873,343     | 2.20  |
| イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 | 179,627,666    | 1.10   | 175,754,323    | 1.07   | 3,873,343     | 2.20  |
| (2) 未払金               | 90,174,806     | 0.55   | 85,749,218     | 0.52   | 4,425,588     | 5.16  |
| (3) 預り金               | 46,323,315     | 0.28   | 40,166,475     | 0.24   | 6,156,840     | 15.33 |
| (4) 引当金               | 13,363,000     | 0.08   | 10,555,000     | 0.06   | 2,808,000     | 26.60 |
| イ 賞与引当金               | 11,463,000     | 0.07   | 8,847,000      | 0.05   | 2,616,000     | 29.57 |
| ロ 法定福利費引当金            | 1,900,000      | 0.01   | 1,708,000      | 0.01   | 192,000       | 11.24 |
| (5) その他流動負債           | 0              | 0.00   | 0              | 0.00   | 0             | —     |
| 5 繰延収益                | 3,523,968,298  | 21.56  | 3,692,771,962  | 22.44  | △168,803,664  | △4.57 |
| (1) 長期前受金             | 7,787,187,813  | 47.65  | 7,778,759,971  | 47.28  | 8,427,842     | 0.11  |
| イ 国庫補助金               | 5,662,122,161  | 34.64  | 5,668,984,620  | 34.46  | △6,862,459    | △0.12 |
| ロ 受贈財産評価額             | 37,239,441     | 0.23   | 37,482,079     | 0.23   | △242,638      | △0.65 |
| ハ 工事負担金               | 2,087,826,211  | 12.77  | 2,072,293,272  | 12.60  | 15,532,939    | 0.75  |
| (2) 長期前受金収益化累計額       | △4,263,219,515 | △26.08 | △4,085,988,009 | △24.83 | △177,231,506  | △4.34 |
| イ 国庫補助金               | △2,596,997,790 | △15.89 | △2,447,351,833 | △14.87 | △149,645,957  | △6.11 |
| ロ 受贈財産評価額             | △24,774,249    | △0.15  | △24,389,612    | △0.15  | △384,637      | △1.58 |
| ハ 工事負担金               | △1,641,447,476 | △10.04 | △1,614,246,564 | △9.81  | △27,200,912   | △1.69 |
| 負債合計                  | 6,876,894,868  | 42.08  | 7,104,662,426  | 43.18  | △227,767,558  | △3.21 |
| 6 資本金                 | 7,226,772,003  | 44.22  | 7,183,272,003  | 43.66  | 43,500,000    | 0.61  |
| (1) 自己資本金             | 7,226,772,003  | 44.22  | 7,183,272,003  | 43.66  | 43,500,000    | 0.61  |
| 7 剰余金                 | 2,240,426,266  | 13.71  | 2,165,099,149  | 13.16  | 75,327,117    | 3.48  |
| (1) 資本剰余金             | 0              | 0.00   | 0              | 0.00   | 0             | —     |
| (2) 利益剰余金             | 2,240,426,266  | 13.71  | 2,165,099,149  | 13.16  | 75,327,117    | 3.48  |
| イ 減債積立金               | 620,000,000    | 3.79   | 620,000,000    | 3.77   | 0             | 0.00  |
| ロ 建設改良積立金             | 1,273,000,000  | 7.79   | 1,273,000,000  | 7.74   | 0             | 0.00  |
| ハ 当年度未処分利益剰余金         | 347,426,266    | 2.13   | 272,099,149    | 1.65   | 75,327,117    | 27.68 |
| 資本合計                  | 9,467,198,269  | 57.92  | 9,348,371,152  | 56.82  | 118,827,117   | 1.27  |
| 負債・資本合計               | 16,344,093,137 | 100.00 | 16,453,033,578 | 100.00 | △108,940,441  | △0.66 |

## 比 較 キ ャ ッ シ ュ ・ フ ロ ー

付表—3

(単位：円)

| 区 分                             | 3 年 度         | 2 年 度         | 前 年 度 比 較    |
|---------------------------------|---------------|---------------|--------------|
| 1 業務活動によるキャッシュ・フロー              |               |               |              |
| 当期純利益又は当期純損失 (△)                | 75,327,117    | 77,208,122    | △1,881,005   |
| 減価償却費                           | 564,104,236   | 553,328,327   | 10,775,909   |
| 資産減耗費のうち固定資産除却費                 | 11,981,102    | 13,669,840    | △1,688,738   |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少)                | 281,676       | △346,284      | 627,960      |
| その他引当金の増減額 (△は減少)               | 2,808,000     | △171,000      | 2,979,000    |
| 長期前受金戻入額                        | △185,146,264  | △185,552,741  | 406,477      |
| 資本費繰入収益                         | 0             | △86,322,000   | 86,322,000   |
| 受取利息及び受取配当金                     | △1,743,227    | △2,142,765    | 399,538      |
| 支払利息                            | 18,633,939    | 20,561,206    | △1,927,267   |
| 固定資産売却損                         | 0             | 1,839,400     | 皆減           |
| 未収金の増減額 (△は増加)                  | 119,770,493   | △48,642,371   | 168,412,864  |
| たな卸資産の増減額 (△は増加)                | 487,440       | 1,603,575     | △1,116,135   |
| その他流動資産の増減額 (△は増加)              | △24,030,000   | 67,080,000    | △91,110,000  |
| 未払金の増減額 (△は減少)                  | 4,425,588     | 61,295,567    | △56,869,979  |
| 預り金の増減額 (△は減少)                  | 6,156,840     | △75,482       | 6,232,322    |
| その他流動負債の増減額 (△は増加)              | 0             | 0             | 0            |
| 小 計                             | 593,056,940   | 473,333,394   | 119,723,546  |
| 利息及び配当金の受取額                     | 1,743,227     | 2,142,765     | △399,538     |
| 利息の支払額                          | △18,633,939   | △20,561,206   | 1,927,267    |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー                | 576,166,228   | 454,914,953   | 121,251,275  |
| 2 投資活動によるキャッシュ・フロー              |               |               |              |
| 有形固定資産の取得による支出                  | △368,876,840  | △764,390,048  | 395,513,208  |
| 有形固定資産の売却による収入                  | 0             | 5,125,500     | 皆減           |
| 無形固定資産の取得による支出                  | 0             | △45,725,455   | 45,725,455   |
| 国庫補助金による収入                      | 0             | 126,697,273   | 皆減           |
| 一般会計からの繰入金による収入                 | 0             | 86,322,000    | 皆減           |
| 工事負担金による収入                      | 16,342,600    | 11,222,107    | 5,120,493    |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー                | △352,534,240  | △580,748,623  | 228,214,383  |
| 3 財務活動によるキャッシュ・フロー              |               |               |              |
| 建設改良費等の財源に充てるための<br>企業債による収入    | 103,400,000   | 402,100,000   | △298,700,000 |
| 建設改良費等の財源に充てるための<br>企業債の償還による支出 | △175,754,322  | △170,614,471  | △5,139,851   |
| 他会計からの出資による収入                   | 43,500,000    | 0             | 皆増           |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー                | △28,854,322   | 231,485,529   | △260,339,851 |
| 資金増加額 (又は減少額)                   | 194,777,666   | 105,651,859   | 89,125,807   |
| 資金期首残高                          | 2,936,497,105 | 2,830,845,246 | 105,651,859  |
| 資金期末残高                          | 3,131,274,771 | 2,936,497,105 | 194,777,666  |

## 経営分析に関する調べ

付表－4

| 項目 |                  | 説明  | 算式  | 比率                             |                                |
|----|------------------|---|---|--------------------------------|--------------------------------|
|    |                  |   |   | 3年度                            | 2年度                            |
| 1  | 負荷率              | 施設が年間を通して有効に利用されているかをみる指標。<br>この比率は100%に近いほどよい。                                   | $\frac{(15,986)}{1 \text{ 日平均配水量}} \times 100$<br>$1 \text{ 日最大配水量}$<br>(18,095)        | 88.34%                         | 90.94%                         |
| 2  | 施設利用率            | 施設の利用が有効かつ適切に行われているかをみる指標。<br>比率が高いことは施設の規模が適正であり効率よく稼働していることを示している。              | $\frac{(15,986)}{1 \text{ 日平均配水量}} \times 100$<br>$1 \text{ 日配水能力}$<br>(22,837)         | 70.00%                         | 75.68%                         |
| 3  | 最大稼働率            | 施設の利用及び投資の適正化をみる指標。<br>この比率が高いことは、一般的に施設能力の設定が水需要に照らし適正になされていることを示している。           | $\frac{(18,095)}{1 \text{ 日最大配水量}} \times 100$<br>$1 \text{ 日配水能力}$<br>(22,837)         | 79.24%                         | 83.22%                         |
| 4  | 有収率              | 年間総配水量に対して収入となった水量の割合を表わしたもので比率は100%に近いほどよい。                                      | $\frac{(4,889,286)}{\text{年間有収水量}} \times 100$<br>$\text{年間配水量}$<br>(5,834,788)         | 83.80%                         | 82.44%                         |
| 5  | 配水管使用効率          | 導水・送水・配水管の布設延長に対する年間総配水量の割合であり、給水区域内の人口密度によって影響を受け、この数値が高いことは一般的に給水人口密度が高いと考えられる。 | $\frac{(5,834,788)}{\text{年間配水量}}$<br>$\text{導送配水管延長}$<br>(427,141)                     | 1m当たり<br>13.66m <sup>3</sup>   | 1m当たり<br>13.93m <sup>3</sup>   |
| 6  | 固定資産使用効率         | 有形固定資産1万円当たりの配水量をみて、施設の使用効率を示す。<br>一般的にこの数値が高いことは、施設が効率的に使用されていることを示す。            | $\frac{(5,834,788)}{\text{年間配水量}} \times 10,000$<br>$\text{有形固定資産}$<br>(12,748,865,936) | 1万円当たり<br>4.58m <sup>3</sup>   | 1万円当たり<br>4.63m <sup>3</sup>   |
| 7  | 給水原価             | 有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの給水に要する費用を示す。  | $\frac{(897,237,488)}{\text{総費用-(前受収益+特損+受託工事費)}}$<br>$\text{年間有収水量}$<br>(4,889,286)    | 1m <sup>3</sup> 当たり<br>183.51円 | 1m <sup>3</sup> 当たり<br>181.73円 |
| 8  | 供給単価             | 有収水量1m <sup>3</sup> 当たりの給水単価(平均料金単価)を示す。  | $\frac{(836,960,210)}{\text{給水収益(水道料金)}}$<br>$\text{年間有収水量}$<br>(4,889,286)             | 1m <sup>3</sup> 当たり<br>171.18円 | 1m <sup>3</sup> 当たり<br>170.42円 |
| 9  | 職員1人当たり給水人口      | 職員の労働生産性を給水人口の視点から示した指標であり、この数値が高いほど職員1人当たりの生産性が高いことを示す。                          | $\frac{(41,557)}{\text{年度末給水人口}}$<br>$\text{職員数}$<br>(16)                               | 2,597人                         | 2,990人                         |
| 10 | 職員1人当たり給水量       | 職員の労働生産性を水量の視点から示した指標であり、この数値が高いほど職員1人当たりの生産性が高いことを示す。                            | $\frac{(4,889,286)}{\text{年間有収水量}}$<br>$\text{職員数}$<br>(16)                             | 305,580m <sup>3</sup>          | 352,393m <sup>3</sup>          |
| 11 | 職員1人当たり営業収益      | 職員の労働生産性を収益の視点から示した指標であり、この数値が高いほど職員1人当たりの生産性が高いことを示す。                            | $\frac{(870,177,115)}{\text{営業収益}}$<br>$\text{職員数}$<br>(16)                             | 54,386千円                       | 62,311千円                       |
| 12 | 給水収益に対する職員給与費の割合 | 給水収益に対する職員給与費の割合を示す指標であり、この比率は職員給与費がどの程度経営の圧迫要因となっているかを示すもので、数値が小さいほどよい。          | $\frac{(104,758,163)}{\text{職員給与費}} \times 100$<br>$\text{給水収益(水道料金)}$<br>(836,960,210) | 12.52%                         | 10.47%                         |

## 財 務 分 析 に 関 す る 調 べ

付表－5

(比率単位：%)

| 項 目                                  | 説 明  | 算 式  | 比 率    |          |
|--------------------------------------|--|--|--------|----------|
|                                      |  |  | 3 年 度  | 2 年 度    |
| 1 自 己 資 本 率                          | 資本構成の安定度を示した指標であり、この数値が高いほど経営の安定度が高いといえる。  | $\frac{(12,991,166,567)}{\text{資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益}} \times 100$<br>$\frac{\text{負債+資本}}{(16,344,093,137)}$     | 79.49  | 79.26    |
| 2 固 定 比 率                            | 固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであるとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましい。100%以上であっても借入金等により、固定資産が調達されていることを示し、財政的に不安定を示すものではない。 | $\frac{(13,083,637,861)}{\text{資本金+剰余金+評価差額等+繰延収益}} \times 100$<br>$\frac{\text{固定資産}}{(12,991,166,567)}$      | 100.71 | 101.91   |
| 3 固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率<br>(固定資産適合率) | 固定資産の調達が自己資本と固定負債の範囲以内で行われるべきであるとの立場から、少なくとも100%以下が望ましい。100を超えた場合、固定資産に対して過大な投資が行われたものといえる。              | $\frac{(13,083,637,861)}{\text{資本金+剰余金+評価差額等+固定負債+繰延収益}} \times 100$<br>$\frac{\text{固定資産}}{(16,014,604,350)}$ | 81.70  | 82.34    |
| 4 固 定 負 債 比 率                        | 固定負債比率は自己資本構成比率とは逆に、総資本に対する固定負債と借入資本割合を示すものであり、事業体の他人資本依存度を示す指標であるため、自己資本構成比率とは逆の傾向を示す。                  | $\frac{(3,023,437,783)}{\text{負債+資本}} \times 100$<br>$\frac{\text{固定負債}}{(16,344,093,137)}$                    | 18.50  | 18.84    |
| 5 流 動 比 率                            | 1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す指標。指標は高いことが望ましく、100%を下回っている場合は、支払能力を高めるための取組が必要となる。                  | $\frac{(3,260,455,276)}{\text{流動負債}} \times 100$<br>$\frac{\text{流動資産}}{(329,488,787)}$                        | 989.55 | 1,012.79 |
| 6 当 座 比 率                            | 企業の即時支払い能力を判断するもので、流動資産のうち現金預金及び容易に現金化する未収金などの当座資産と流動負債を対比させたもので、100%以上が理想比率とされている。                      | $\frac{(3,195,342,266)}{\text{流動負債}} \times 100$<br>$\frac{\text{現金預金+（未収金-貸倒引当金）}}{(329,488,787)}$            | 969.79 | 999.48   |
| 7 現 金 比 率                            | 企業の即時支払い能力を判断するもので、流動資産のうち現金預金と流動負債を対比させたもので、100%以上が理想比率とされている。  | $\frac{(3,131,274,771)}{\text{流動負債}} \times 100$<br>$\frac{\text{現金預金}}{(329,488,787)}$                        | 950.34 | 940.51   |
| 8 総 収 益 対 総 費 用 比 率<br>(総収支比率)       | 費用総額に対する収益総額の割合をみるもので、100%以下であれば損失を示し、高率ほどよい。  | $\frac{(1,157,710,869)}{\text{総費用}} \times 100$<br>$\frac{\text{総収益}}{(1,082,383,752)}$                        | 106.96 | 107.12   |
| 9 営 業 収 益 対 営 業 費 用 比 率<br>(営業収支比率)  | 業務活動によってもたらされた営業収益と、それに要した営業費用とを対比して、業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。                           | $\frac{(870,177,115)}{\text{営業費用-受託工事費用}} \times 100$<br>$\frac{\text{営業収益-受託工事収益}}{(1,063,030,569)}$          | 81.86  | 82.97    |
| 10 総 収 益 利 益 率                       | 総収益のうち最終的に企業に残された純利益となったものの割合を示すものである。   | $\frac{(75,327,117)}{\text{総収益}} \times 100$<br>$\frac{\text{当年度純利益}}{(1,157,710,869)}$                        | 6.51   | 6.65     |
| 11 企 業 債 償 還 金 対 減 価 償 却 費 比 率       | 企業債償還元金とその償還財源である減価償却費を比較して投資の健全性をみる指標であり、この比率が低いほど償還能力は高いといえる。  | $\frac{(175,754,322)}{\text{減価償却費-長期前受金戻入}} \times 100$<br>$\frac{\text{企業債元金償還金}}{(378,957,972)}$             | 46.38  | 46.39    |

# 下水道事業会計





## 1 事業の概況

### (1) 下水道事業の普及状況等

#### ア 普及人口、普及率及び水洗化人口等

##### (ア) 公共下水道

当年度末の普及人口は32,397人で、前年度と比較して149人(0.46%)減少し、当年度末の普及率は97.99%で、前年度と比較して0.11ポイント増加している。

また当年度末の水洗化人口は31,069人で、前年度と比較して263人(0.84%)減少し、当年度末の水洗化率は95.90%で、前年度と比較して0.37ポイント減少している。

##### (イ) 特定環境保全公共下水道

当年度末の普及人口は2,109人で、前年度と比較して116人(5.82%)増加し、当年度末の普及率は87.15%で、前年度と比較して5.03ポイント増加している。

また当年度末の水洗化人口は1,158人で、前年度と比較して186人(19.14%)増加し、当年度末の水洗化率は54.91%で、前年度と比較して6.14ポイント増加している。

##### (ウ) 農業集落排水

当年度末の普及人口は2,918人で、前年度と比較して56人(1.88%)減少し、当年度末の普及率は99.86%で、前年度と比較して0.93ポイント増加している。

また当年度末の水洗化人口は2,405人で、前年度と比較して45人(1.84%)減少し、当年度末の水洗化率は82.42%で、前年度と比較して0.04ポイント増加している。

##### (エ) 全体

当年度末の普及人口は37,424人で、前年度と比較して89人(0.24%)減少し、当年度末の普及率は97.45%で、前年度と比較して0.48ポイント増加している。

また当年度末の水洗化人口は34,632人で、前年度と比較して122人(0.35%)減少し、当年度末の水洗化率は92.54%で、前年度と比較して0.11ポイント減少している。

### イ 年間総処理水量及び年間有収水量

#### (ア) 公共下水道

年間総処理水量は3,845,855 $\text{m}^3$ で、前年度と比較して133,849 $\text{m}^3$ (3.36%)減少している。

また年間有収水量は3,612,148 $\text{m}^3$ で、前年度と比較して71,092 $\text{m}^3$ (1.93%)減少している。

#### (イ) 特定環境保全公共下水道

年間総処理水量は158,468 $\text{m}^3$ で、前年度と比較して46,234 $\text{m}^3$ (41.19%)増加している。

また年間有収水量は118,163 $\text{m}^3$ で、前年度と比較して39,599 $\text{m}^3$ (50.40%)増加している。

#### (ウ) 農業集落排水

年間総処理水量は270,685 $\text{m}^3$ で、前年度と比較して12,386 $\text{m}^3$ (4.38%)減少している。

また年間有収水量は267,699 $\text{m}^3$ で、前年度と比較して8,039 $\text{m}^3$ (3.10%)増加している。

(工) 全体

年間総処理水量は4,275,008m<sup>3</sup>で、前年度と比較して100,001m<sup>3</sup> (2.29%) 減少している。

また年間有収水量は3,998,010m<sup>3</sup>で、前年度と比較して23,454m<sup>3</sup> (0.58%) 減少している。

普及人口、水洗化人口及び年間総処理水量等の実績は、次表のとおりである。

公共下水道

| 区 分           | 単位             | 3 年 度<br>(A) | 2 年 度<br>(B) | 前 年 度 比 較    |           |
|---------------|----------------|--------------|--------------|--------------|-----------|
|               |                |              |              | 増減 (A) - (B) | 増 減 率 (%) |
| 地 区 人 口       | 人              | 33,060       | 33,249       | △189         | △0.57     |
| 普 及 人 口       | 人              | 32,397       | 32,546       | △149         | △0.46     |
| 普 及 率         | %              | 97.99        | 97.89        | 0.11         | —         |
| 水 洗 化 人 口     | 人              | 31,069       | 31,332       | △263         | △0.84     |
| 水 洗 化 率       | %              | 95.90        | 96.27        | △0.37        | —         |
| 年 間 総 処 理 水 量 | m <sup>3</sup> | 3,845,855    | 3,979,704    | △133,849     | △3.36     |
| 年 間 有 収 水 量   | m <sup>3</sup> | 3,612,148    | 3,683,240    | △71,092      | △1.93     |

特定環境保全公共下水道

| 区 分           | 単位             | 3 年 度<br>(A) | 2 年 度<br>(B) | 前 年 度 比 較    |           |
|---------------|----------------|--------------|--------------|--------------|-----------|
|               |                |              |              | 増減 (A) - (B) | 増 減 率 (%) |
| 地 区 人 口       | 人              | 2,420        | 2,427        | △7           | △0.29     |
| 普 及 人 口       | 人              | 2,109        | 1,993        | 116          | 5.82      |
| 普 及 率         | %              | 87.15        | 82.12        | 5.03         | —         |
| 水 洗 化 人 口     | 人              | 1,158        | 972          | 186          | 19.14     |
| 水 洗 化 率       | %              | 54.91        | 48.77        | 6.14         | —         |
| 年 間 総 処 理 水 量 | m <sup>3</sup> | 158,468      | 112,234      | 46,234       | 41.19     |
| 年 間 有 収 水 量   | m <sup>3</sup> | 118,163      | 78,564       | 39,599       | 50.40     |

農業集落排水

| 区 分           | 単位             | 3 年 度<br>(A) | 2 年 度<br>(B) | 前 年 度 比 較    |           |
|---------------|----------------|--------------|--------------|--------------|-----------|
|               |                |              |              | 増減 (A) - (B) | 増 減 率 (%) |
| 地 区 人 口       | 人              | 2,922        | 3,006        | △84          | △2.79     |
| 普 及 人 口       | 人              | 2,918        | 2,974        | △56          | △1.88     |
| 普 及 率         | %              | 99.86        | 98.94        | 0.93         | —         |
| 水 洗 化 人 口     | 人              | 2,405        | 2,450        | △45          | △1.84     |
| 水 洗 化 率       | %              | 82.42        | 82.38        | 0.04         | —         |
| 年 間 総 処 理 水 量 | m <sup>3</sup> | 270,685      | 283,071      | △12,386      | △4.38     |
| 年 間 有 収 水 量   | m <sup>3</sup> | 267,699      | 259,660      | 8,039        | 3.10      |

## 全体

| 区 分           | 単位             | 3 年 度<br>(A) | 2 年 度<br>(B) | 前 年 度 比 較    |           |
|---------------|----------------|--------------|--------------|--------------|-----------|
|               |                |              |              | 増減 (A) - (B) | 増 減 率 (%) |
| 地 区 人 口       | 人              | 38,402       | 38,682       | △280         | △0.72     |
| 普 及 人 口       | 人              | 37,424       | 37,513       | △89          | △0.24     |
| 普 及 率         | %              | 97.45        | 96.98        | 0.48         | —         |
| 水 洗 化 人 口     | 人              | 34,632       | 34,754       | △122         | △0.35     |
| 水 洗 化 率       | %              | 92.54        | 92.65        | △0.11        | —         |
| 年 間 総 処 理 水 量 | m <sup>3</sup> | 4,275,008    | 4,375,009    | △100,001     | △2.29     |
| 年 間 有 収 水 量   | m <sup>3</sup> | 3,998,010    | 4,021,464    | △23,454      | △0.58     |

### (2) 建設改良事業

ア 建設改良費の決算額は451,229,692円で、主な事業としては、管路建設改良事業（現年・繰越）、処理場建設改良事業（現年・繰越）などがある。

イ 工事請負費の決算額は312,799,000円で、予算現額478,258,400円に対し65.40%の執行率となっている。なお、令和4年度への繰越額660,419,000円の内、契約済繰越額は大笠利地区汚水管路施設工事3工区他4件の合計金額82,266,464円となっている。

## 2 予算の執行状況

予算は当初予算に1回の補正が行われ、決算報告書に示されている予算額は議決予算額と符合し、また、決算額は勘定科目ごとに総勘定内訳書及び当年度末の合計残高試算表の数値と一致している。

### (1) 収益的収入及び支出

収益的収入は、予算額1,734,174,000円に対し、決算額1,744,623,716円で、予算額に比べ10,449,716円の増、収入率は100.60%となっている。

収益的支出は、予算額1,629,876,000円に対し、決算額1,548,825,754円で、予算額に比べ81,050,246円の不用額が生じ、執行率は95.03%となっている。不用額の主なものは、営業費用54,917,489円である。

## 収 益 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：円，%)

| 区 分         | 3 年 度         |               |            |        | 2 年 度         | 前 年 度 比 較        |       |
|-------------|---------------|---------------|------------|--------|---------------|------------------|-------|
|             | 予 算 額         | 決 算 額<br>(A)  | 増 減        | 収 入 率  | 決 算 額<br>(B)  | 増 減<br>(A) - (B) | 増 減 率 |
| 1 営 業 収 益   | 543,729,000   | 548,802,973   | 5,073,973  | 100.93 | 549,493,094   | △690,121         | △0.13 |
| 2 営 業 外 収 益 | 1,190,445,000 | 1,195,820,743 | 5,375,743  | 100.45 | 1,207,923,115 | △12,102,372      | △1.00 |
| 計           | 1,734,174,000 | 1,744,623,716 | 10,449,716 | 100.60 | 1,757,416,209 | △12,792,493      | △0.73 |

支 出

(単位：円，%)

| 区 分         | 3 年 度         |               |            |       | 2 年 度         | 前 年 度 比 較        |        |
|-------------|---------------|---------------|------------|-------|---------------|------------------|--------|
|             | 予 算 額         | 決 算 額<br>(A)  | 不 用 額      | 執 行 率 | 決 算 額<br>(B)  | 増 減<br>(A) - (B) | 増 減 率  |
| 1 営 業 費 用   | 1,510,877,000 | 1,455,959,511 | 54,917,489 | 96.37 | 1,436,635,566 | 19,323,945       | 1.35   |
| 2 営 業 外 費 用 | 118,199,000   | 92,866,243    | 25,332,757 | 78.57 | 112,327,657   | △19,461,414      | △17.33 |
| 3 特 別 損 失   | 0             | 0             | 0          | 0.00  | 24,625,471    | △24,625,471      | 皆減     |
| 4 予 備 費     | 800,000       | 0             | 800,000    | 0.00  | 0             | 0                | —      |
| 計           | 1,629,876,000 | 1,548,825,754 | 81,050,246 | 95.03 | 1,573,588,694 | △24,762,940      | △1.57  |

### (2) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算額1,410,968,000円に対し、決算額788,986,500円で、予算額に比べ621,981,500円の減、収入率は55.92%となっている。決算額の減は、企業債が265,900,000円、補助金が345,774,000円、負担金等が10,307,500円それぞれ減となったことによるものである。

資本的支出は、予算額2,055,536,000円に対し、決算額1,363,485,544円で、さらに翌年度繰越額660,419,000円を除くと予算額に比べ31,631,456円の不用額が生じており、執行率は66.33%となっている。不用額の主なものは、建設改良費31,630,308円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額574,499,044円は、当年度分損益勘定留保資金553,337,394円、消費税及び地方消費税資本的収支調整額21,161,650円で補てんされている。

## 資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：円，%)

| 区 分       | 3 年 度         |              |              |       | 2 年 度        | 前 年 度 比 較        |        |
|-----------|---------------|--------------|--------------|-------|--------------|------------------|--------|
|           | 予 算 額         | 決 算 額<br>(A) | 増 減          | 収 入 率 | 決 算 額<br>(B) | 増 減<br>(A) - (B) | 増 減 率  |
| 1 企 業 債   | 853,400,000   | 587,500,000  | △265,900,000 | 68.84 | 659,300,000  | △194,200,000     | △22.64 |
| 2 補 助 金   | 539,594,000   | 193,820,000  | △345,774,000 | 35.92 | 283,665,000  | △256,129,000     | △47.48 |
| 3 負 担 金 等 | 17,974,000    | 7,666,500    | △10,307,500  | 42.65 | 8,920,000    | △9,347,500       | △52.04 |
| 計         | 1,410,968,000 | 788,986,500  | △621,981,500 | 55.92 | 951,885,000  | △459,083,000     | △32.53 |

## 支 出

(単位：円，%)

| 区 分     | 3 年 度         |               |                |            |        | 2 年 度         | 前 年 度 比 較        |        |
|---------|---------------|---------------|----------------|------------|--------|---------------|------------------|--------|
|         | 予 算 額         | 決 算 額<br>(A)  | 翌 年 度<br>繰 越 額 | 不 用 額      | 執 行 率  | 決 算 額<br>(B)  | 増 減<br>(A) - (B) | 増 減 率  |
| 1 建設改良費 | 1,143,279,000 | 451,229,692   | 660,419,000    | 31,630,308 | 39.47  | 650,954,000   | △199,724,308     | △30.68 |
| 2 企業債償還 | 912,257,000   | 912,255,852   | 0              | 1,148      | 100.00 | 935,341,646   | △23,085,794      | △2.47  |
| 計       | 2,055,536,000 | 1,363,485,544 | 660,419,000    | 31,631,456 | 66.33  | 1,586,295,646 | △222,810,102     | △14.05 |

|               |              |
|---------------|--------------|
| 決算額差引額（収入－支出） | △574,499,044 |
|---------------|--------------|

## 企 業 債 推 移

(単位：円)

| 年 度 | 借 入 額       | 償 還 額       | 年 度 末 残 高      |
|-----|-------------|-------------|----------------|
| 29  | 773,000,000 | 926,803,126 | 10,713,892,843 |
| 30  | 774,600,000 | 949,400,807 | 10,539,092,036 |
| 元   | 671,100,000 | 935,199,074 | 10,274,992,962 |
| 2   | 659,300,000 | 935,341,646 | 9,998,951,316  |
| 3   | 587,500,000 | 912,255,852 | 9,674,195,464  |

## (3) 流用禁止事項

当初予算第9条，補正予算（第1号）第5条の規定で定めた，議会の議決を経なければ流用することのできない職員給与費については，議決予算の範囲内において執行されている。

(単位：円，%)

| 区 分   | 議決予算額       | 執行済額        | 不 用 額     | 執行率   |
|-------|-------------|-------------|-----------|-------|
| 職員給与費 | 124,285,000 | 121,582,762 | 2,702,238 | 97.83 |

(注) 職員給与費は，資本的支出を含む。（執行済額は，引当金取崩額を除く。）

## (4) 他会計からの補助金

当初予算第10条の規定で定めた下水道事業に助成するため，一般会計から補助を受ける金額680,000,000円は，令和3年度は収益的収入の他会計補助金として680,000,000円を受け入れ，職員給与費，支払利息，減価償却費等に充てている。

### 3 経営成績

損益計算書は、企業の経営成績を明らかにするため、当年度に発生したすべての収益及び費用を表示するもので、「付表－1（P35）」のとおりである。

当年度は、総収益1,694,067,603円に対し、総費用1,519,431,290円で、差引き174,636,313円の純利益となっている。

これを前年度と比較すると、総収益は8,682,089円減少、総費用は29,627,137円減少し、純利益は20,945,048円増加している。

総収益が減少した要因は、営業収益が598,750円、営業外収益が8,083,339円それぞれ減少したことによるものである。

営業収益減少の主な要因は、下水道使用料が903,450円減少したためである。

営業外収益減少の主な要因は、他会計補助金が20,371,350円減少したためである。

総費用が減少した要因は、営業費用は19,277,396円増加したものの、営業外費用が24,279,062円、特別損失が24,625,471円それぞれ減少したことによるものである。

営業費用増加の主な要因は、減価償却費が20,451,821円、資産減耗費が6,227,273円増加したためである。

営業外費用減少の要因は、支払利息が17,259,581円、雑支出が7,019,481円減少したためである。

特別損失は24,625,471円減少し、0円となっている。

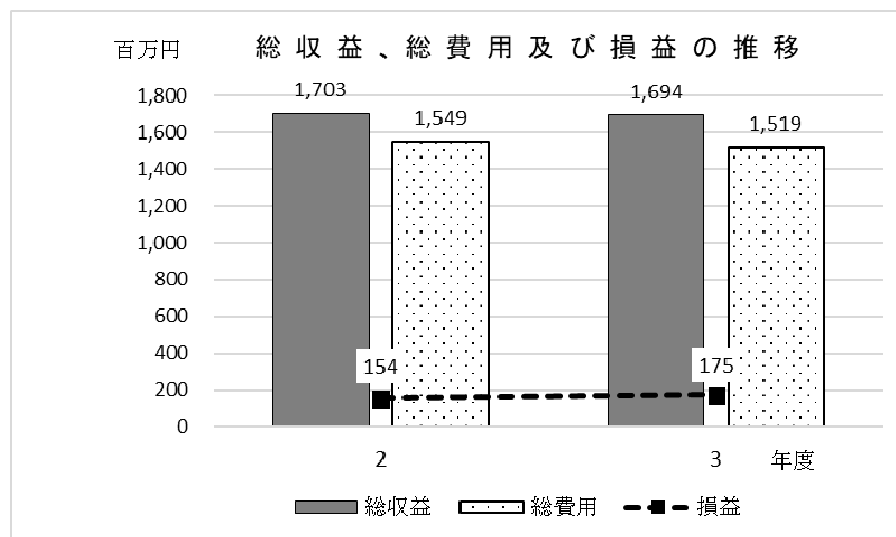
過去2か年間における経営成績の推移及び費用の構成状況は、次表のとおりである。

#### 経営成績推移

(単位：円、%)

| 年 度 | 総 収 益 (A)     |        | 総 費 用 (B)     |        | 損 益<br>(A) - (B) | 収 支 比 率<br>(A) ÷ (B) |
|-----|---------------|--------|---------------|--------|------------------|----------------------|
|     | 金 額           | 指 数    | 金 額           | 指 数    |                  |                      |
| 2   | 1,702,749,692 | 100.00 | 1,549,058,427 | 100.00 | 153,691,265      | 109.92               |
| 3   | 1,694,067,603 | 99.49  | 1,519,431,290 | 98.09  | 174,636,313      | 111.49               |

※ 指数は、令和2年度を100として算出した。



## 性質別費用構成表

(単位：円，%)

| 区 分       | 3 年 度 (A)     |        | 2 年 度 (B)     |        | 前 年 度 比 較        |          |
|-----------|---------------|--------|---------------|--------|------------------|----------|
|           | 金 額           | 構成比    | 金 額           | 構成比    | 金 額<br>(A) - (B) | 増 減 率    |
| 職 員 給 与 費 | 98,816,404    | 6.50   | 107,603,718   | 6.95   | △8,787,314       | △8.17    |
| 光 熱 水 費   | 55,543,212    | 3.66   | 54,579,458    | 3.52   | 963,754          | 1.77     |
| 委 託 料     | 199,818,565   | 13.15  | 193,014,643   | 12.46  | 6,803,922        | 3.53     |
| 修 繕 費     | 19,584,856    | 1.29   | 20,077,875    | 1.30   | △493,019         | △2.46    |
| 材 料 費     | 4,627,600     | 0.30   | 2,620,500     | 0.17   | 2,007,100        | 76.59    |
| 減 価 償 却 費 | 1,023,445,105 | 67.36  | 1,002,993,284 | 64.75  | 20,451,821       | 2.04     |
| 資 産 減 耗 費 | 6,502,610     | 0.43   | 275,337       | 0.02   | 6,227,273        | 2,261.69 |
| 支 払 利 息   | 92,561,705    | 6.09   | 109,821,286   | 7.09   | △17,259,581      | △15.72   |
| そ の 他     | 18,531,233    | 1.22   | 58,072,326    | 3.75   | △39,541,093      | △68.09   |
| 計         | 1,519,431,290 | 100.00 | 1,549,058,427 | 100.00 | △29,627,137      | △1.91    |

### 4 剰余金計算書

この計算書は、剰余金はその年度中にどのように増減変動したかを表示するもので、その内容は次のとおりである。

#### (1) 資本剰余金

ア 国庫補助金は前年度末残高21,557,000円で、前年度処分額及び当年度変動額がないので、当年度末残高は同額の21,557,000円となっている。

イ 県補助金は前年度末残高5,851,660円で、前年度処分額及び当年度変動額がないので、当年度末残高は同額の5,851,660円となっている。

ウ 他会計補助金は前年度末残高2,068,854,203円で、前年度処分額及び当年度変動額がないので、当年度末残高は同額の2,068,854,203円となっている。

#### (2) 利益剰余金

ア 未処分利益剰余金は前年度末残高153,691,265円で、前年度処分額はないが、当年度純利益174,636,313円を加えると、当年度末残高は328,327,578円となっている。

### 5 剰余金処分計算書

決算による当年度末の資本金は822,531,859円、資本剰余金は2,096,262,863円、未処分利益剰余金は328,327,578円となっており、当年度処分額がないので同額が翌年度へ繰越される。

## 6 財政状態

貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、当年度末現在において企業が保有するすべての資産、負債及び資本を総括的に表示するもので、「付表－2（P36, 37）」のとおりである。

### (1) 資産

資産総額は22,411,644,837円で、前年度と比較して449,197,511円（1.96%）減少している。

これは、固定資産が617,499,672円減少し、流動資産が168,302,161円増加したことによるものである。

#### ア 固定資産

固定資産は21,930,977,615円で、資産総額の97.86%を占め、前年度と比較して617,499,672円（2.74%）減少している。

有形固定資産で増加したものは、建設仮勘定129,657,319円であり、減少した主なものは、構築物364,945,751円、機械及び装置318,661,231円等である。

また、令和3年度奄美市下水道事業決算書15ページの固定資産明細書の有形固定資産減価償却累計額2,025,610,365円は、前年度の累計額が1,002,993,284円であったが、これに当年度増加額1,023,445,105円を加え、機械及び装置等の除却に伴う減少額828,024円を控除したものである。

#### イ 流動資産

流動資産は480,667,222円で、資産総額の2.14%を占め、前年度と比較して168,302,161円（53.88%）増加している。

これは、現金預金が170,700,651円増加し、未収金が2,398,490円減少したことによるものである。

(ア) 現金預金の年度末現在高402,763,515円は、全額を金融機関に預け入れている。

(イ) 当年度末現在の未収金78,777,339円は、未収下水道使用料59,063,645円（74.98%）、未収消費税還付金18,788,094円（23.85%）、未収受益者負担金925,600円（1.17%）となっている。

また、不納欠損として148,463円106件を処理しており、その理由としては所在不明・死亡・転出未払い等やむを得ないものと認められる。

未収金対策については、受給者負担の公平を図るためにも、関係法令に基づく適切な措置を講じ、的確な債権確保を図るよう望むものである。



下水道料金に係る未収金の状況は、次表のとおりである。

### 未 収 金 明 細 表

(単位：円，%)

| 科 目         | 金 額        | 構 成 比  | 備 考         |
|-------------|------------|--------|-------------|
| 未収金合計       | 78,777,339 | 100.00 |             |
| 営業未収金       | 59,063,645 | 74.98  |             |
| 未収下水道使用料    | 59,063,645 | 74.98  |             |
| 【公】未収下水道使用料 | 53,090,823 | 67.39  |             |
| 【特】未収下水道使用料 | 1,630,175  | 2.07   |             |
| 【農】未収下水道使用料 | 4,342,647  | 5.51   |             |
| 営業外未収金      | 18,788,094 | 23.85  |             |
| 未収消費税還付金    | 18,788,094 | 23.85  |             |
| 【特】未収消費税還付金 | 9,660,332  | 12.26  | R3年度消費税還付金分 |
| 【農】未収消費税還付金 | 9,127,762  | 11.59  | 〃           |
| その他未収金      | 925,600    | 1.17   |             |
| 未収受益者負担金    | 925,600    | 1.17   |             |
| 【公】未収受益者負担金 | 595,600    | 0.76   |             |
| 【特】未収受益者負担金 | 230,000    | 0.29   |             |
| 【農】未収受益者負担金 | 100,000    | 0.13   |             |

## (2) 負債

負債総額は19,164,522,537円で前年度と比較して623,833,824円(3.15%)減少している。

### ア 固定負債

固定負債は8,749,540,412円で、負債・資本総額の39.04%を占め、前年度と比較して337,155,050円(3.71%)減少している。これは、建設改良費等の財源に充てるための企業債が減少したためである。

### イ 流動負債

流動負債(貸借対照表日の翌日から起算して1年以内に支払い、又は返還の期限が到来する短期の債務である未払金など)は987,252,181円で、負債・資本総額の4.41%を占め、前年度と比較して39,287,542円(4.14%)増加している。これは未払金27,404,344円等が増加したためである。

### ウ 繰延収益

繰延収益9,427,729,944円は、長期前受金10,431,277,647円から収益化累計額1,003,547,703円を控除した金額で、前年度と比較して325,966,316円(3.34%)減少している。固定資産の取得または改良に充てるために交付を受けた補助金等については、長期前受金として計上されている。また、取得した固定資産の減価償却見合い分を収益化し累計額を長期前受金収益化累計額として計上している。

### (3) 資本

資本総額は3,247,122,300円で前年度と比較して174,636,313円（5.68%）増加している。

#### ア 資本金

資本金は822,531,859円で負債・資本総額の3.67%を占め、前年度と同額である。

#### イ 剰余金

剰余金は2,424,590,441円で、負債・資本総額の10.82%を占め、前年度と比較して174,636,313円（7.76%）増加している。これは、利益剰余金の当年度未処分利益剰余金が増加したことによるものである。

## 7 資金の状況

キャッシュ・フロー計算書は、一事業年度のキャッシュ・フロー（現金の流れ）を、一定の活動区分別に表示するもので、以下「付表－3（P38）」のとおりである。当年度末における業務活動によるキャッシュ・フローは724,038,046円、投資活動によるキャッシュ・フローは△228,581,543円、財務活動によるキャッシュ・フローは△324,755,852円であり、資金期末残高は402,763,515円である。

## 8 経営分析

企業の経営成績については既に述べてきたが、さらにその主な項目を分析すると次のとおりである。なお、その他の項目については、「付表－4（P39）」を参照されたい。

### (1) 経常収支比率

経常収支比率（ $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}}$ ）は111.49%で、前年度と比較して0.21ポイント減少している。なお、この比率が100%を超えると黒字であることを示す。

### (2) 累積欠損金比率

累積欠損金比率（ $\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}$ ）は0.00%である。累積欠損金が発生していない場合は0.00%であり、累積欠損金を有している場合は、経営の健全性に課題があると言える。

### (3) 流動比率

流動比率（ $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$ ）は48.69%で、前年度と比較して15.74ポイント増加している。指標は高いことが望ましく、100%を下回っている場合は、支払能力を高める必要がある。

### (4) 経費回収率

経費回収率（ $\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費（公費負担分を除く）}}$ ）は80.53%で、前年度と比較して1.90ポイント増加している。100%を下回っている場合は適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減が必要である。

(5) 汚水処理原価

汚水処理原価 (  $\frac{\text{汚水処理費 (公費負担分を除く)}}{\text{年間有収水量}}$  ) は154.45円で、前年度と比較して3.09円 (1.96%) 減少している。

(6) 管渠老朽化率

管渠老朽化率 (  $\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{下水道布設延長}}$  ) は0.00%である。法定耐用年数を経過した管渠がないことから、管渠の老朽化には至っていない。

(7) 管渠改善率

管渠改善率 (  $\frac{\text{改善 (更新・改良・修繕) 管渠延長}}{\text{下水道布設延長}}$  ) は1.34%で、前年度と比較して0.85ポイント増加している。数値としては低く改善が必要な管渠は少ない。

9 財務分析

企業の財政状態については既に述べてきたが、さらにその主な項目を分析すると次のとおりである。なお、その他の項目については、「付表-5 (P40)」を参照されたい。

下水道事業会計財務分析

(単位：%)

| 区 分  |           | 年 度         | 3 年 度  | 2 年 度  | 備 考  | 理 想 比 率 |
|------|-----------|-------------|--------|--------|--|---------|
| 健全性  | 自己資本率     |             | 56.55  | 56.11  | $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$ $\frac{12,674,852,244}{22,411,644,837} \times 100$ | 50%以上   |
|      |           |             |        |        |  |         |
| 支払能力 | 当座比率      |             | 48.69  | 32.95  | $\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$ $\frac{480,667,222}{987,252,181} \times 100$                            | 100%以上  |
|      |           | 現金比率        | 40.80  | 24.48  | $\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$ $\frac{402,763,515}{987,252,181} \times 100$  | 100%以上  |
| 健全性  | 総収益対総費用比率 |             | 111.49 | 109.92 | $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$ $\frac{1,694,067,603}{1,519,431,290} \times 100$  |         |
|      |           | 営業収益対営業費用比率 | 34.99  | 35.51  | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$ $\frac{499,111,229}{1,426,537,947} \times 100$                        |         |

付表-1, 付表-2 参照

### (1) 健全性

自己資本構成比率によって企業会計の健全性が示されるが、この比率が大きければ経営の安全性は高いと判断される。

本年度は56.55%で、前年度と比較して0.44ポイント上回っている。理想比率50%を上回っているので健全性は保たれている。

### (2) 支払能力

支払能力は、当座比率及び現金比率によって判断されるが、前年度より当座比率が15.74ポイント、現金比率が16.32ポイントそれぞれ改善しており、良化傾向にある。しかしながら、いずれも理想比率を下回っていることから、なお一層の改善が必要である。

### (3) 安全性

総収益対総費用比率は111.49%で、前年度と比較して1.57ポイント上回っているが、営業収益対営業費用比率は34.99%で前年度と比較して0.52ポイント下回った。総収益が総費用を上回っていることから安全性は保たれているものと認められる。

## む す び

以上、令和3年度下水道事業会計決算について、その審査結果を述べてきた。下水道事業は、本市における生活環境の改善や公共用水域の水質の保全など、日々の市民生活、衛生環境及び社会経済活動を支える重要な役割を担っている。

今年度は、管路改良事業として公共下水道の幹線管路を更生する公共下水道幹線管路更生工事、特定環境保全公共下水道の汚水管路を施設する大笠利地区汚水管路施設工事等を実施し、市民生活の衛生環境向上に努めてきた。

財務状況について、健全性は前年度同様保たれており、安全性についても営業収益対営業費用比率が低いことは懸念されるが、ほぼ前年度同様の水準である。一方、支払能力については、現金保有率の増加により徐々に良化しているが、依然として理想比率を下回っており、引き続き改善に向けた取組を進められたい。

経営状況については、現金保有率の増加による流動比率の増加、企業債の減少による企業債残高対事業規模比率の減少、汚水処理費の減少による汚水処理原価の減少など、公営企業会計2年目を迎え経営指標を表す指標がほぼ良化しており、純利益（黒字）174,636,313円、未処分利益剰余金328,327,578円を計上している。

今後も、人口減少を背景とした下水道使用料収入の減少や下水道施設などの老朽化が見込まれることから、組織や事務事業の効率化、管理業務の見直しなど、経営基盤強化に向けた取組を推進するとともに、奄美市下水道事業経営戦略に沿った投資計画、財政計画を実施することで、市民の安全で快適な暮らしと良好な環境を守り、社会活動を支える必要不可欠なライフラインである下水道が、将来にわたり安定的に提供されることを期待する。



## 比較損益計算書

附表－1

(収入の部)

(単位：円，%)

| 勘定科目     | 3 年 度         |        | 2 年 度         |        | 前 年 度 比 較     |       |
|----------|---------------|--------|---------------|--------|---------------|-------|
|          | 金 額 (A)       | 構 成 比  | 金 額 (B)       | 構 成 比  | 増 減 (A) - (B) | 増 減 率 |
| 1 営業収益   | 499,111,229   | 29.46  | 499,709,979   | 29.35  | △598,750      | △0.12 |
| 下水道使用料   | 497,272,929   | 29.35  | 498,176,379   | 29.26  | △903,450      | △0.18 |
| その他の営業収益 | 1,838,300     | 0.11   | 1,533,600     | 0.09   | 304,700       | 19.87 |
| 2 営業外収益  | 1,194,956,374 | 70.54  | 1,203,039,713 | 70.65  | △8,083,339    | △0.67 |
| 受取利息     | 4,209         | 0.00   | 2,516         | 0.00   | 1,693         | 67.29 |
| 雑収益      | 5,119,349     | 0.30   | 5,021,922     | 0.29   | 97,427        | 1.94  |
| 他会計補助金   | 680,000,000   | 40.14  | 700,371,350   | 41.13  | △20,371,350   | △2.91 |
| 長期前受金戻入  | 509,832,816   | 30.10  | 497,643,925   | 29.23  | 12,188,891    | 2.45  |
| 合 計      | 1,694,067,603 | 100.00 | 1,702,749,692 | 100.00 | △8,682,089    | △0.51 |

(支出の部)

|               |               |        |               |        |             |          |
|---------------|---------------|--------|---------------|--------|-------------|----------|
| 1 営業費用        | 1,426,537,947 | 93.89  | 1,407,260,551 | 90.85  | 19,277,396  | 1.37     |
| 管渠費           | 21,895,149    | 1.44   | 21,602,345    | 1.39   | 292,804     | 1.36     |
| ポンプ場費         | 6,310,093     | 0.42   | 8,571,771     | 0.55   | △2,261,678  | △26.39   |
| 処理場費          | 260,053,248   | 17.12  | 261,230,952   | 16.86  | △1,177,704  | △0.45    |
| 総係費           | 108,331,742   | 7.13   | 112,586,862   | 7.27   | △4,255,120  | △3.78    |
| 減価償却費         | 1,023,445,105 | 67.36  | 1,002,993,284 | 64.75  | 20,451,821  | 2.04     |
| 資産減耗費         | 6,502,610     | 0.43   | 275,337       | 0.02   | 6,227,273   | 2,261.69 |
| 2 営業外費用       | 92,893,343    | 6.11   | 117,172,405   | 7.56   | △24,279,062 | △20.72   |
| 支払利息          | 92,561,705    | 6.09   | 109,821,286   | 7.09   | △17,259,581 | △15.72   |
| 雑支出           | 331,638       | 0.02   | 7,351,119     | 0.47   | △7,019,481  | △95.49   |
| 3 特別損失        | 0             | 0.00   | 24,625,471    | 1.59   | △24,625,471 | 皆減       |
| その他特別損失       | 0             | 0.00   | 24,625,471    | 1.59   | △24,625,471 | 皆減       |
| 合 計           | 1,519,431,290 | 100.00 | 1,549,058,427 | 100.00 | △29,627,137 | △1.91    |
| 当 年 度 経 常 利 益 | 174,636,313   |        | 178,316,736   |        | △3,680,423  | △2.06    |
| 当 年 度 純 利 益   | 174,636,313   |        | 153,691,265   |        | 20,945,048  | 13.63    |

**比較貸借対照表**

付表－2

(単位：円，%)

| 科 目        | 3 年 度          |        | 2 年 度          |        | 前 年 度 比 較     |         |
|------------|----------------|--------|----------------|--------|---------------|---------|
|            | 金 額 (A)        | 構 成 比  | 金 額 (B)        | 構 成 比  | 増 減 (A) - (B) | 増 減 率   |
| 1 固定資産     | 21,930,977,615 | 97.86  | 22,548,477,287 | 98.63  | △617,499,672  | △2.74   |
| (1) 有形固定資産 | 21,930,977,615 | 97.86  | 22,548,477,287 | 98.63  | △617,499,672  | △2.74   |
| イ 土地       | 2,124,906,667  | 9.48   | 2,124,906,667  | 9.29   | 0             | 0.00    |
| ロ 建物       | 1,124,237,823  | 5.02   | 1,187,220,597  | 5.19   | △62,982,774   | △5.31   |
| ハ 構築物      | 15,906,089,691 | 70.97  | 16,271,035,442 | 71.17  | △364,945,751  | △2.24   |
| ニ 機械及び装置   | 2,543,665,276  | 11.35  | 2,862,326,507  | 12.52  | △318,661,231  | △11.13  |
| ホ 工具器具及び備品 | 356,029        | 0.00   | 923,264        | 0.00   | △567,235      | △61.44  |
| ヘ 建設仮勘定    | 231,722,129    | 1.03   | 102,064,810    | 0.45   | 129,657,319   | 127.03  |
| 2 流動資産     | 480,667,222    | 2.14   | 312,365,061    | 1.37   | 168,302,161   | 53.88   |
| (1) 現金預金   | 402,763,515    | 1.80   | 232,062,864    | 1.02   | 170,700,651   | 73.56   |
| (2) 未収金    | 77,903,707     | 0.35   | 80,302,197     | 0.35   | △2,398,490    | △2.99   |
| 未収金        | 78,777,339     | 0.35   | 80,656,292     | 0.35   | △1,878,953    | △2.33   |
| 未収金貸倒引当金   | △873,632       | 0.00   | △354,095       | △0.00  | △519,537      | △146.72 |
| 資 産 合 計    | 22,411,644,837 | 100.00 | 22,860,842,348 | 100.00 | △449,197,511  | △1.96   |



(単位：円，%)

| 科 目                 | 3 年 度          |        | 2 年 度          |        | 前 年 度 比 較    |         |
|---------------------|----------------|--------|----------------|--------|--------------|---------|
|                     | 金 額 (A)        | 構 成 比  | 金 額 (B)        | 構 成 比  | 増 減 (A)-(B)  | 増 減 率   |
| 3 固定負債              | 8,749,540,412  | 39.04  | 9,086,695,462  | 39.75  | △337,155,050 | △3.71   |
| (1) 企業債             | 8,749,540,412  | 39.04  | 9,086,695,462  | 39.75  | △337,155,050 | △3.71   |
| 4 流動負債              | 987,252,181    | 4.41   | 947,964,639    | 4.15   | 39,287,542   | 4.14    |
| (1) 企業債             | 924,655,052    | 4.13   | 912,255,854    | 3.99   | 12,399,198   | 1.36    |
| (2) 未払金             | 51,684,129     | 0.23   | 24,279,785     | 0.11   | 27,404,344   | 112.87  |
| (3) 引当金             | 10,913,000     | 0.05   | 11,429,000     | 0.05   | △516,000     | △4.51   |
| イ 賞与引当金             | 9,135,000      | 0.04   | 9,566,000      | 0.04   | △431,000     | △4.51   |
| ロ 法定福利費引当金          | 1,778,000      | 0.01   | 1,863,000      | 0.01   | △85,000      | △4.56   |
| 5 繰延収益              | 9,427,729,944  | 42.07  | 9,753,696,260  | 42.67  | △325,966,316 | △3.34   |
| (1) 長期前受金           | 10,431,277,647 | 46.54  | 10,251,234,367 | 44.84  | 180,043,280  | 1.76    |
| (2) 長期前受金収益化<br>累計額 | △1,003,547,703 | △4.48  | △497,538,107   | △2.18  | △506,009,596 | △101.70 |
| 負 債 合 計             | 19,164,522,537 | 85.51  | 19,788,356,361 | 86.56  | △623,833,824 | △3.15   |
| 6 資本金               | 822,531,859    | 3.67   | 822,531,859    | 3.60   | 0            | 0.00    |
| (1) 固有資本金           | 622,531,859    | 2.78   | 622,531,859    | 2.72   | 0            | 0.00    |
| (2) 繰入資本金           | 200,000,000    | 0.89   | 200,000,000    | 0.87   | 0            | 0.00    |
| 7 剰余金               | 2,424,590,441  | 10.82  | 2,249,954,128  | 9.84   | 174,636,313  | 7.76    |
| (1) 資本剰余金           | 2,096,262,863  | 9.35   | 2,096,262,863  | 9.17   | 0            | 0.00    |
| イ 国庫補助金             | 21,557,000     | 0.10   | 21,557,000     | 0.09   | 0            | 0.00    |
| ロ 県補助金              | 5,851,660      | 0.03   | 5,851,660      | 0.03   | 0            | 0.00    |
| ハ 他会計補助金            | 2,068,854,203  | 9.23   | 2,068,854,203  | 9.05   | 0            | 0.00    |
| (2) 利益剰余金           | 328,327,578    | 1.46   | 153,691,265    | 0.67   | 174,636,313  | 113.63  |
| イ 当年度未処分利益<br>剰余金   | 328,327,578    | 1.46   | 153,691,265    | 0.67   | 174,636,313  | 113.63  |
| 資 本 合 計             | 3,247,122,300  | 14.49  | 3,072,485,987  | 13.44  | 174,636,313  | 5.68    |
| 負 債 ・ 資 本 合 計       | 22,411,644,837 | 100.00 | 22,860,842,348 | 100.00 | △449,197,511 | △1.96   |

## 比較キャッシュ・フロー

付表-3

(単位：円)

| 区 分                             | 3 年 度         | 2 年 度         | 前 年 度 比 較   |
|---------------------------------|---------------|---------------|-------------|
| 1 業務活動によるキャッシュ・フロー              |               |               |             |
| 当期純利益又は当期純損失 (△)                | 174,636,313   | 153,691,265   | 20,945,048  |
| 減価償却費                           | 1,023,445,105 | 1,002,993,284 | 20,451,821  |
| 資産減耗費                           | 6,502,610     | 275,337       | 6,227,273   |
| 引当金の増減額 (△は減少)                  | 519,537       | 11,429,000    | △10,909,463 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少)                | △516,000      | 354,095       | △870,095    |
| 長期前受金戻入額                        | △509,832,816  | △497,643,925  | △12,188,891 |
| 受取利息                            | △4,209        | △2,516        | △1,693      |
| 支払利息                            | 92,561,705    | 109,821,286   | △17,259,581 |
| 未収金の増減額 (△は増加)                  | 1,878,953     | △24,821,059   | 26,700,012  |
| 未払金の増減額 (△は減少)                  | 27,404,344    | 22,710,297    | 4,694,047   |
| 小 計                             | 816,595,542   | 778,807,064   | 37,788,478  |
| 利息の受取額                          | 4,209         | 2,516         | 1,693       |
| 利息の支払額                          | △92,561,705   | △109,821,286  | 17,259,581  |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー                | 724,038,046   | 668,988,294   | 55,049,752  |
| 2 投資活動によるキャッシュ・フロー              |               |               |             |
| 有形固定資産の取得による支出                  | △412,448,043  | △594,347,017  | 181,898,974 |
| 補助金による収入                        | 176,200,000   | 257,877,275   | △81,677,275 |
| 負担金等による収入                       | 7,666,500     | 8,396,601     | △730,101    |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー                | △228,581,543  | △328,073,141  | 99,491,598  |
| 3 財務活動によるキャッシュ・フロー              |               |               |             |
| 建設改良費等の財源に充てるための<br>企業債による収入    | 587,500,000   | 659,300,000   | △71,800,000 |
| 建設改良費等の財源に充てるための<br>企業債の償還による支出 | △912,255,852  | △935,341,646  | 23,085,794  |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー                | △324,755,852  | △276,041,646  | △48,714,206 |
| 資金増加額 (又は減少額)                   | 170,700,651   | 64,873,507    | 105,827,144 |
| 資金期首残高                          | 232,062,864   | 167,189,357   | 64,873,507  |
| 資金期末残高                          | 402,763,515   | 232,062,864   | 170,700,651 |

## 経営分析に関する調べ

付表-4

| 項 目 | 説 明          | 算 式  | 比 率                            |                                |
|-----|--------------|--|--------------------------------|--------------------------------|
|     |              |  | 3 年 度                          | 2 年 度                          |
| 1   | 経常収支比率       | $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$   | 111.49%                        | 111.70%                        |
| 2   | 累積欠損金比率      | $\frac{\text{当年度未処理欠損金}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}} \times 100$                                | 0.00%                          | 0.00%                          |
| 3   | 流動比率         | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$   | 48.69%                         | 32.95%                         |
| 4   | 企業債残高対事業規模比率 | $\frac{\text{企業債現在高} - \text{一般会計負担額}}{\text{営業収益} - \text{受託工事収益} - \text{雨水処理負担金}} \times 100$ | 523.70%                        | 597.39%                        |
| 5   | 経費回収率        | $\frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費}(\text{公費負担分を除く})} \times 100$                                 | 80.53%                         | 78.63%                         |
| 6   | 汚水処理原価       | $\frac{\text{汚水処理費}(\text{公費負担分を除く})}{\text{年間有収水量}}$  | 1m <sup>3</sup> 当たり<br>154.45円 | 1m <sup>3</sup> 当たり<br>157.54円 |
| 7   | 施設利用率        | $\frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{晴天時現在処理能力}} \times 100$   | 53.68%                         | 55.79%                         |
| 8   | 水洗化率         | $\frac{\text{現在水洗便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$   | 92.54%                         | 90.94%                         |
| 9   | 有形固定資産減価償却率  | $\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$                            | 9.38%                          | 4.70%                          |
| 10  | 管渠老朽化率       | $\frac{\text{法定耐用年数を経過した管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$                                       | 0.00%                          | 0.00%                          |
| 11  | 管渠改善率        | $\frac{\text{改善(更新・改良・修繕)管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$                                      | 1.34%                          | 0.49%                          |

## 財 務 分 析 に 関 する 調 べ

付表－5

(比率単位：%)

| 項 目                                  | 説 明  | 算 式   | 比 率    |        |
|--------------------------------------|--|---|--------|--------|
|                                      |  |   | 3 年 度  | 2 年 度  |
| 1 自 己 資 本 率                          | 資本構成の安定度を示した指標であり、この数値が高いほど経営の安定度が高いといえる。  | $\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$     | 56.55  | 56.11  |
| 2 固 定 比 率                            | 固定資産が自己資本によってまかなわれるべきであるとする企業財政上の原則から、100%以下が望ましい。100%以上であっても借入金等により、固定資産が調達されていることを示し、財政的に不安定を示すものではない。 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$               | 173.03 | 175.80 |
| 3 固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率<br>(固定資産適合率) | 固定資産の調達が自己資本と固定負債の範囲以内で行われるべきであるとの立場から、少なくとも100%以下が望ましい。100%を超えた場合、固定資産に対して過大な投資が行われたものといえる。             | $\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$ | 102.36 | 102.90 |
| 4 固 定 負 債 比 率                        | 固定負債比率は自己資本構成比率とは逆に、総資本に対する固定負債と借入資本金割合を示すものであり、事業体の他人資本依存度を示す指標であるため、自己資本構成比率とは逆の傾向を示す。                 | $\frac{\text{固定負債}}{\text{負債} + \text{資本}} \times 100$  | 39.04  | 39.75  |
| 5 当 座 比 率                            | 企業の即時支払い能力を判断するもので、流動資産のうち現金預金及び容易に現金化する未収金などの当座資産と流動負債を対比させたもので、100%以上が理想比率とされている。                      | $\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$                          | 48.69  | 32.95  |
| 6 現 金 比 率                            | 企業の即時支払い能力を判断するもので、流動資産のうち現金預金と流動負債を対比させたもので、100%以上が理想比率とされている。  | $\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$  | 40.80  | 24.48  |
| 7 総 収 益 対 総 費 用 比 率<br>(総収支比率)       | 費用総額に対する収益総額の割合をみるもので、100%以下であれば損失を示し、高率ほどよい。  | $\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$  | 111.49 | 109.92 |
| 8 営 業 収 益 対 営 業 費 用 比 率<br>(営業収支比率)  | 業務活動によってもたらされた営業収益と、それに要した営業費用とを対比して、業務活動の能率を示すものであり、これによって経営活動の成否が判断されるものである。                           | $\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$                        | 34.99  | 35.51  |
| 9 総 収 益 利 益 率                        | 総収益のうち最終的に企業に残された純利益となったものの割合を示すものである。   | $\frac{\text{当年度純利益}}{\text{総収益}} \times 100$   | 10.31  | 9.03   |
| 10 企 業 債 償 還 金 対 減 価 償 却 費 比 率       | 企業債償還元金とその償還財源である減価償却費を比較して投資の健全性をみる指標であり、この比率が低いほど償還能力は高いといえる。  | $\frac{\text{企業債元金償還金}}{\text{減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$                                  | 177.62 | 185.09 |



